

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2018年
年報号

46

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY



巻頭言：鈴木 圭

新任に当たって、
「ものづくりのすすめ」

Contents

- 2 巻頭言：鈴木 圭
- 3 平成30年度 研究室紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 平成29年度 修士論文・卒業研究
- 11 平成29年度 教員の研究・活動
(2017.4.1~2018.3.31)
- 11 研究業績
- 20 社会的活動
- 23 学外学術活動
- 26 海外出張
- 28 外部研究資金の受入状況
- 28 受賞
- 29 平成29年度 学生の受賞等
(2017.4.1~2018.3.31)
- 29 教室の動き
- 30 TOPICS 新任教員の紹介
- 31 平成29年度 就職状況
- 32 COLUMN
- 32 編集後記



巻頭言 新任に当たって、「ものづくりのすすめ」

教授 鈴木 圭

2017年4月に、構造デザイン研究室に赴任した鈴木圭です。以前は、鹿島建設株式会社に勤務し、ものづくりを念頭に、道路橋や歩道橋のデザインを実施してきました。秋葉原にあるAKIBA BRIDGE、代官山の駅と代官山アドレスを結ぶ2橋、地下鉄東西線が荒川を渡る時に、右岸側下流に見える高さ150mの煙突も、デザインに関係しました。JR恵比寿駅の西口の噴水広場や、大阪市道頓堀川に架かる浮庭橋は、設計コンペで優勝して完成した作品です。出身は土木のエンジニアですので、PC構造物の計画・設計・施工まで、担当したことが、自分の力になったと思います。

一方、高レベル放射性廃棄物の地層処分や、低レベル放射性廃棄物の処分にかかわる研究も担当しました。研究は、岩盤を通過する無線通信の実験を、フランスのビュールにある地下500mの試験施設で行いました。また、放射性廃棄物を安全に地中に埋設するために、ベントナイト（粘土）で廃棄物を埋めますが、そのベントナイトの研究を、スウェーデンの地層処分の実施主体であるSKB社の方々と一緒に実施しました。これらの研究も、日本の地下300m以深に、10万年の間、安全に放射性廃棄物を閉じ込めておく施設をつくることを常に考えながら進めてきました。実験や研究は、実際の「ものづくり」につながらなくてはならないと考えています。

さて、「ものづくり」ですが、これはすでにあるものを再現する、ということとは違います。「新たに作り出す」と「その内容を理解してもらおう」という2つの意味があります。例えば、設計コンペで優勝するには、地域の風景や歴史を紐解き、新しいデザインを提案しなければ、1位になりませんし、実現されません。また、自分の考え方を、よく理解してもらわないと、実現されないでしょう。そのために、自分をどのように鍛えるのかということが、皆さんの課題になってきます。要は、「ものづくり」とは、クリエイティブで、楽しいことだと各人が理解すると、人生が楽しくなります。そのコツを皆さんに伝授したいと思います。

まず、日本大学理工学部が、そのような環境に大変恵まれていることを、理解してください。とくに交通システム工学科は、JABEEの認定校になっていますので、先生方

の教え方や、評価の仕方、また、授業を受講した学生からの意見などが、反映されるシステムになっています。JABEEの認定校では、エンジニアの資格として重要な技術士になるための必要な試験のうち、1次試験の受験が免除になります。

「ものづくり」のプロになるためには、「専門分野の知識だけではなく、物事に対して関心をもつこと」が大切です。例えば図書館に行くと、各学科の先生方が推薦する図書30冊を展示しています。新入生、交通システム工学科の学生や大学院生も、ぜひ読んでください。これは、自分が将来、エンジニアとして活躍するための、力強いエキスになると思います。語学はとても大切です。英語はもちろん、ドイツ語、フランス語が使えること、そのためには、体を使って覚えることです。毎日、新しい単語を10個書き出し、それを発音しながら、3回書いてみることで、それがコツです。大学院の方は、研究分野に関係した英文を読む機会があると思いますので、読んでいくうちに、良い表現をマネたり、メモを取ることが大切です。

次に、「エンジニアのコミュニケーションツールは図面」だということです。「ものづくり」を指示するためには、わかりやすい図面を制作できることが、第一条件となります。CADを自分で書けることが大切ですので、学生の身分を活用して、AutoCADから無料でダウンロードし、自分で好きな車等の絵を描いてみることをお勧めします。皆さんなら、2週間もあれば、CADが使えるようになると思います。自分のアイデアを3次元で表現したいと思う方は、Googleマップで使われるSkechUpにチャレンジしてみてください。これも無料でダウンロードできます。

これに慣れてくると、自分の描いた橋を、よりリアルに見せたいくなります。その場合、SkechUpの色がリアルでないと感じ始めたら、その方はプロの領域に入ったといえます。SkechUpで作成した画像を、さらに、Photoshopで陰影を付けたりすると、本当の写真のように見せることも可能です。そこまで身に付いたら100点満点だと思います。これらの技術は、社会に出てから大変役に立つと思いますし、就職された組織の方も、それを求めていると思います。ぜひ、「ものづくり」の好きなエンジニアを、楽しく目指してください。

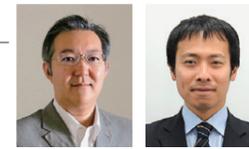
平成30年度 研究室紹介

744 号室

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授

稲垣具志 助教



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルizm」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。'まち'は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルizmとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。



成田国際空港での調査



京都への研究室研修旅行

インターモーダルizmの確立を目指し、交通まちづくりを実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。

●卒業研究テーマ

- ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行動分析
- ・交通ビッグデータの解析
- ・ITS施策・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・空港・港湾計画のための交通分析
- ・パーソナルトランスポーターの交通分析
- ・観光交通計画のための交通分析
- ・クルーズ客船の活性化のための利用動向分析
- ・水上飛行機による地方創生
- ・水上飛行機の運航支援システムの検討
- ・航空機の安全運航に関する分析

●ゼミナール・テーマ

- ・交通分析手法の習得
- ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）
- ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）

●卒業研究、ゼミナール着条件

原則として「交通システム計画」「交通需要予測」を履修すること。TOPを取得すること。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページをご覧ください。(pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp)

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

743・B号室

道路交通 研究室

安井一彦 准教授

兵頭 知 助教



道路上の安全性と円滑性を高めるための、交通信号制御について研究を行っている、わが国でも数少ない研究室です。3年生は交通工学、土木情報学関連の基礎知識を習得するゼミ、4年生と大学院生は、卒業研究・修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるさまざまな交通問題について研究を行っています。また、路側にある車両感知器のデータ、自動車プローブデータ、道路空間のデータおよび天候のデータなど長期モニタリングデータ、いわゆる交通ビッグデータを活用した交通安全マネジメント手法に関する研究についても実施しています。

これからも幅広い視野をもって、道路交通の安全・円滑に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

研究室ホームページ：<http://roadtra.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>

●卒業研究テーマ

主な研究は以下の通りです。

- ・交通規制用保安施設の安全性に関する研究
- ・高齢者の道路交通法に関する研究
- ・道路交通法や標識の国際標準化に関する研究
- ・踏切での一時停止規制と利用実態に関する研究
- ・外国人ドライバーの交通事故発生状況に関する研究
- ・横断歩道での車両の一時停止順守率に関する研究
- ・事故リスク推計モデルの構築に関する研究
- ・事故リスクの要因分析に関する研究
- ・事故リスク情報提供の提案・評価に関する研究

●ゼミナール・テーマ

交通技術者として「道路交通技術必携」と、「交通信号の手引き」の理解。就職にあたっての基礎知識の修得。

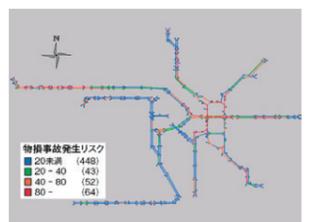
●卒業研究、ゼミナール着条件

交通工学に情熱を持っている学生。交通流理論、交通制御、道路工学及び演習を履修または取得している学生。

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



ステアコーンの衝突実験



事故リスクの可視化例

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂 哲宏 准教授



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。

アジアにおいて、地下鉄や新幹線などの鉄道の導入、公共交通指向型開発（TOD）の実施、P&Rによる駐車管理、バイオ燃料の利用などがCO₂排出量の削減にどの程度寄与するかを検証しています。また、走行している車両からプローブ情報システムやカーナビなどから移動体情報を取得することで交通状態を推計する手法の開発を行っています。これらのデータに基づいてマイクロ交通流シミュレーションモデル（TS）、ドライビングシミュレーター（DS）の開発しており、さまざまな施策の評価に適用しています。さらに、これらの交通情報を提供することでマルチモーダルを推進する方法についても検討しています。



ドライビングシミュレーター

これらのモデルやシステムの開発は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では東北大学、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学、インド工科大学ハイデラバード校、オーストリアのウィーン工科大学などと共同で研究を進めています。卒研究生や大学院生がこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

●卒業研究テーマ（一部）

- ・TODを前提とした地下鉄、BRT導入時のCO₂排出削減量の推計
- ・タイにおける高速鉄道整備による集積効果の推計
- ・鉄道駅周辺におけるウォークビリティの評価
- ・Bluetoothによるバンコクのリンク間交通状態の空間分析
- ・インド・アーメダバードにおけるプローブデータによるバス走行状態の把握
- ・新しい燃料消費量推計モデルの構築

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・モデルを活用した計画案の分析方法を学習する。報告書を作成し、講評会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業に就くことを希望している者。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、情報通信システムの受講を推奨する。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通環境 研究室

藤井 敬宏 教授
伊東 英幸 准教授



交通環境研究室では、公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、ならびに交通環境の改善に向けた対策などの研究を進めています。

例えば、公共・福祉・観光交通の視点では、コミュニティバスなどの福祉交通の改善計画の検討や、心のバリアフリーに関する評価・対策の検討、子育て世帯の交通支援策、エコツーリズムの総合評価などを研究しています。また環境共生型交通インフラの整備に向けた生物多様性の保全方法の検討、野生生物と自動車の交通事故分析、シーニックバイウェイの分析、高齢者を対象とした近隣歩行環境の評価手法の構築などに取り組んでいます。

平成29年度のゼミナールは、伊東准教授が海外派遣で不在

君津市市民ワークショップ
(学生がファシリテーター)ゼミ合宿 群馬県水上中心にアクティブコース
(キャニオニング+ラフティング+ストレッチ)

でしたが、大学院生4名、卒研究生11名、3年ゼミ生12名の総勢27名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究中間発表会を年2回、群馬県へのゼミ旅行を行いました。

●卒業研究テーマ（一部）

- ・立地適正化計画のコンパクト化に基づいた都市的配置の定量化
- ・心のバリアフリーの行動マニュアルの運用評価
- ・公共交通不便地域における住民協働を目標とした公共交通整備
- ・住民協働型デマンドタクシーの運行改善評価
- ・住民協働型コミュニティバスの検討
- ・高齢者を対象とした改良版近隣歩行環境評価法の検討
- ・シーニックバイウェイを構成する観光要素の評価
- ・エゾシカのロードキルの発生要因分析

●ゼミナール・テーマ（平成29年度実施内容）

- ① グループディスカッション
 - ・「若い技術者が成すべきこととは？」（スーツ着用審査会のテーマ）
- ② 社会貢献型学習：
 - ・君津市の公共交通改善を目指す市民ワークショップの開催・運営
(ファシリテーターとして改善案の取りまとめ)

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通環境問題に関心を持ち、ワークショップやフィールド調査に積極的に参加する意欲があること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

空間情報 研究室

佐田 達典 教授
江守 央 准教授



空間情報研究室では、衛星測位システム（GNSS）、レーザー計測技術をベースに、先端的なセンサを利用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、車両の高精度測位、交通施設整備、移動時の情報提供への応用を目指しています。

GNSSは米国のGPSのほかにロシアのGLONASS、EUのGalileo、わが国の準天頂衛星QZSSの高精度測位実験による評価を行っています。さらに、車両や台車にGNSSとレーザー計測装置を搭載して道路空間の形状を走行しながら計測するモバイルマッピングシステム（MMS）を用いて自動走行のための3次元道路情報や歩行の移動円滑化に向けた歩道のバリア情報の抽出などの応用技術の研究をしています。また、センサやバーチャルリアリティ（VR）技術によるバリアチェックやまちづくりにも取り組んでいます。

平成29年度は、大学院生1名、卒研究生14名、ゼミナール生16名の総勢31名が在籍し活動しました。

●卒業研究テーマ（平成29年度）

- ① 準天頂衛星QZSSによる測位精度向上効果の検証
- ② Galileoの測位特性の検証
- ③ 3次元都市モデルによる衛星の可視性評価と衛星選択
- ④ 出来形管理要領を用いたレーザーキャナの特長評価

- ⑤ MMSの点群データを用いた道路白線部の自動抽出
- ⑥ MMSによる街路における規制標識の視認性評価
- ⑦ 屋内型MMSを用いた経路探索のための位置情報検出
- ⑧ 屋内型MMSを用いたサインシステムの視認性評価
- ⑨ VR映像を用いたバリアチェック手法の研究

●ゼミナール・テーマ

GNSS、レーザー測量、センサの仕組みについて専門書の輪講・計測体験を行います。また、交通調査や交通バリアフリーに関する見学体験会ならびに論文の輪読を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。新技術や社会貢献に興味のある方を歓迎します。

卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



車載型MMS

ICT技術を活用したバリアチェック手法の試行の様子

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
菊池 浩紀 助手



本研究室は、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。

具体的には、自動車のトリップエンドとしての駐車をどのようにコントロールしていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策やシニア社会の交通対策など、安全で安心して暮らせるための交通計画の検討も進めており、さまざまな交通問題を地区としてどのように解決し



路上駐車施設と自転車走行空間の整備

利用者が増加しているシェアサイクルシステム

てくかを考えています。また、東日本大震災や熊本地震で問題になった大規模震災発生時の交通問題や物流問題に関する研究にも取り組んでいます。さらに、ゼミ合宿、卒業研究中間発表会、研究室懇親会では、研究室の卒業生の先輩方にも参加していただき、研究内容や就職活動に関するさまざまな意見交換を行っています。

平成29年度は、大学院生6名、卒研究生14名、ゼミナール生16名の総勢36名が活動しました。

●卒業研究テーマ

- ・路上駐車施設の運用方法に関する研究
- ・貨物車の駐車特性に関する研究
- ・端末物流対策に関する研究
- ・災害時の物流対策に関する研究
- ・交差点部における自転車の通行方法に関する研究
- ・自転車通行と路上駐車の関係性に関する研究
- ・ドライブレコーダを用いた自転車のヒヤリハット分析
- ・住宅地における交通安全対策に関する研究
- ・子どもと高齢者の道路横断判断に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交通行動データ解析の基礎演習
- ・セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究、ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論・交通現象解析Ⅱを受講すること。卒研、ゼミ受入可能コース：両コース受入可能

道路マネジメント 研究室

下川澄雄 教授
吉岡慶祐 助手



人口減少、少子高齢化社会が直面するなかで、今後ともくらし豊かな生活、効率的な都市機能を維持していくためには、中山間地域から大都市に至るまで、「コンパクト」+「ネットワーク」により、新たな活力の集積を図り、それらが重層的に重なる国土の形成を図る必要があります。

道路マネジメント研究室は、これらを実現すべく、道路を中心とする交通インフラの計画・設計から維持管理に至るプロセスの中で、今日的な課題や社会的な要請を抽出・整理し、新たな制度設計を提案していくことを研究の柱としています。そのため、研究の対象は、①道路ネットワークのあり方、②道路のサービス水準と道路の新たな計画設計論、③車両性能や交通特性と道路の構造との関わりなど、道路の機能・特性に関わる基礎的な研究から施策立案に関する行政的な応用研究といった広い領域を含むものです。

なお、本研究室では、他大学との合同ゼミ合宿をはじめとして外部との交流も盛んに行っています。

●卒業研究テーマ

- 道路の機能・階層を踏まえたサービス水準のあり方に関する研究
- 将来の拠点配置や交通特性を踏まえた道路ネットワークや道路空間の再編に関する研究

- 高速道路渋滞時の交通挙動と交通運用策に関する研究
- ラウンドアバウトの交通特性と道路構造に関する研究
- 性能照査型の道路計画設計論など

●ゼミナール・テーマ

小グループごとによるフィールドスタディを通じ、道路交通問題とその解決策を実践的に習得することを狙いとしています。また、グループディスカッションを通じ、とりまとめや説明能力の向上を目指します。平成29年度は、遠州鉄道(株)のバスプロープデータを用いピーク時間帯における時間信頼性について分析を行うとともに、渋滞のボトルネックを特定し、現地調査などを踏まえた渋滞の発生要因や対策案を議論し、その成果をレポートとしてまとめました。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

道路工学および同演習、交通現象解析Ⅱを履修または履修予定であること。

卒研、ゼミ受入可能コース：両コース受入可能

高速道路の2+1車線



ドイツのラウンドアバウト

構造デザイン 研究室

鈴木 圭 教授
齊藤準平 助教



構造デザイン研究室では、公共交通を支えるために重要となる交通基盤を研究対象として、構造工学や維持管理工学の視点、ならびに構造デザイン工学の視点から研究を行います。交通基盤の新たな建設、膨大な数の交通基盤の機能維持など、交通基盤を取り巻く諸問題の解決を目指し、主に工学的材料である『コンクリート』を研究対象として、構造工学、材料工学、維持管理工学に関するテーマ、構造デザイン工学に関するテーマを設定し研究に取り組みます。

●卒業研究テーマ

- 海外のコンクリート指針 (Euro コード) と日本の設計指針の比較に関する研究 (鈴木)

ゼミ合宿 (卒研生、ゼミナール生) (2017年8月 ハツ場ダム 群馬県)



コンクリートカー大会 (ゼミナール生) (2017年8月 戸田市 彩湖)

- 吉野川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する研究 (鈴木)
- 橋梁ガイドマップに関する研究 (鈴木)
- 高レベル放射性廃棄物処分場の3次元レイアウト (案)の研究 (鈴木)
- PVA繊維補強コンクリートの構造挙動や耐久性の解明 (齊藤)
- 100万回規模の繰り返し応力付与下のRC・PRC構造物の塩分浸透特性評価 (齊藤)
- 火害を受けたコンクリートのひび割れ挙動の解明と使用性評価 (齊藤)
- 非破壊試験によるコンクリート構造物の新たな損傷・劣化度診断 (齊藤)

●ゼミナール・テーマ

- 「得体の知らないコンクリート」を科学する!
- コンクリート・モルタルを用いたカーズの作製「コンクリートカーズ大会」に出場!
- コンクリート・構造・環境などに係わる自由研究(基礎・応用実験調査etc.)「何かやってみる!」
- その他、課外活動(建設現場見学、交通インフラ等の土木構造物や歴史遺産の訪ね歩き)

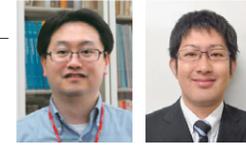
●卒業研究・ゼミナール着手条件

卒業研究は、コンクリートに関する材料・構造に関する科目(建設材料Ⅰ、コンクリート構造Ⅰ・Ⅱ、建設材料実験の4科目)を必ず履修(卒研と同時に履修可)。ゼミナールは特になし。

卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

地盤工学 研究室

峯岸邦夫 教授
山中光一 助教



平成29年度の学生構成は、大学院博士前期課程2年生が1名、同1年生が2名、卒研生(4年生)が13名、ゼミナール生(3年生)が15名の合計30名でした。平成30年度は、峯岸教授、山中助教の2名体制で研究・教育を進めています。

当研究室では、交通施設(鉄道、道路、空港、港湾など)に関連する施設)の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の交通施設に関連する地盤や地盤材料の力学特性のほかに、舗装用に強化されたジオシンセティックス(土木用不織布)の耐久性および通水性能、舗装の構造設計など、舗装に関する研究も行います。

毎年、地盤工学会関東支部で主催しているソイルストラクチャーコンテスト(SSC)に参加しています。SSCは、普段、大学や仕事で学んだ知識を生かして社会人や学生が地盤材料を使った梁を設計し、その強度を競うコンテストです。2017年で第12回目になりますが、地盤工学研究室は第



ゼミ合宿で訪れた黒部ダム(平成29年8月・富山県)

1回目より参加し、過去には優勝経験もあります。

その他の活動として、4年生がGeoKanto(地盤工学会関東支部発表会)および土木学会関東支部技術発表会に参加し、日頃の研究成果の発表を行っています。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と関東大学地盤研究室対抗ソフト大会に研究室全員で参加し、どちらも準優勝でした。また、他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めることができました。

●卒業研究テーマ

- ①混合地盤材料の強度変形特性
- ②強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ③ジオセルにより補強した路盤の応力低減効果に関する研究
- ④乱された関東ロームの力学特性
- ⑤路床の弾性係数に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ①地盤工学の成り立ち
- ②交通地盤工学(交通施設の地盤工学)とは?
- ③大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ④地盤構造物への新素材・新材料の利用
- ⑤地盤環境技術
- ⑥魅力あるアースデザイン
- ⑦フィールド・トリップ(地盤の観察、現場見学など)

●卒業研究・ゼミナール着手条件

卒業研究は、地盤力学Ⅰ、Ⅱと地盤材料実験を必ず履修(同時履修可)していること。ゼミナールは特になし。

卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

TOPICS 交通システム工学科配置図

4F	交通工学・計画演習室1 745B室	交通工学・計画演習室2 745A室	運輸交通計画研究室 轟 教授 稲垣 助教 744室 内線5219	道路交通研究室 安井 准教授 兵頭 助教 743B室 内線5504	
3F	交通システム研究室 福田 教授 石坂 准教授 739室 内線5355	交通環境研究室 藤井 教授 伊東 准教授 738室 内線6476	交通環境演習室 737室	交通システム演習室 735室	
2F	交通システム工学科 事務局 伊藤・熊田・岩本 7214室 内線5239	交通輪講室 7213室	空間情報研究室 佐田 教授 江守 准教授 7212室 内線8147	交通計画研究室 小早川 教授 菊池 助手 7211室 内線5242	交通現象解析室 7210室
1F	道路マネジメント研究室 下川 教授 吉岡 助手 7111室 内線5503	構造デザイン研究室 鈴木 教授 齊藤 助教 7110室 内線5241	交通施設・社会環境 演習室1 719室	交通施設・社会環境 演習室2 718室	地盤工学研究室 峯岸 教授 山中 助教 717室 内線5217

- 2号館：舗装・地盤系実験室(201、202)……………内線5418
- 7号館：コンクリート・構造系実験室(704)……………内線5236
- 7号館：交通実験室(704F)

- 社会基盤工学系実験 建設材料系……………内線5216
- 地盤・舗装材料系……………内線5584
- 測量実習センター……………内線5322
- お茶の水校舎1階 交通共通研究室(C101・B室) 03-3259-0976

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX: 047-469-2581

平成29年度 修士論文・卒業研究

修士論文

移動体に搭載したBluetoothスキャナによる旅行時間の推定に関する研究 —マイクロ交通シミュレーションによる検証— 指導：石坂哲宏 准教授	青柳達也	都道府県を構成する都市間連絡のための目標旅行時間に関する研究 指導：下川澄雄 教授	齊藤浅里
韓国の交通事故を減少させるための方策に関する研究 指導：安井一彦 准教授	LEE SANGJO	高精度衛星測位における準天頂衛星の併用による鉛直方向精度向上効果に関する研究 指導：佐田達典 教授	酒井昂紀
ジオセルを敷設した路盤の応力分散効果による路盤厚の低減に関する研究 指導：峯岸邦夫 教授	伊藤友哉	大規模地震時における道路閉塞要因を考慮した避難所への救援物資配送に関する研究 指導：小早川 悟 教授	長谷川 究
ラウンドアバウトの外径と交差角度の組合せに基づく幾何構造の評価 指導：下川澄雄 教授	小久保智朗	転回路付き緩速車線を用いた新たな交通運用策に関する研究 指導：下川澄雄 教授、森田緯之 客員教授	茂木翔平
時間制限駐車区間における路上駐車施設の運用方法に関する研究 指導：小早川 悟 教授	小杉拓也	小規模店舗が集積する地区における貨物車の発生集中実態に関する研究 指導：小早川 悟 教授	姚 奇巍

卒業研究

■ 交通計画研究室 (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教) ………	【 】は共同論文指導
熊本地震における建物倒壊からみた道路閉塞に関する研究 芳賀卓朗	■ 交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授 (理工学部海外派遣))
短時間の時間制限駐車区間における路上駐車実態の分析 関 陽一	イベント時における車いす利用者の仮設型多機能トイレの利用実態分析 篠原達也
車道部の自転車通行が信号交差点の自動車交通流に与える影響に関する研究 岩淵峻太	高齢者の歩行環境を評価する改良版近隣歩行環境評価法 (ANEWS) の妥当性評価 —千葉県高根台・習志野台団地を対象として— 塚原勇介
信号交差点における年齢層別の道路横断速度に関する研究 —東京都江戸川区船堀橋東詰交差点を対象として— 仁枝紀翔、安田 敦	心のバリアフリーのスパイラルアップに向けた行動マニュアルの介護資格要件を考慮した運用評価 —千葉県市原市の職員への適用— 酒井椋平
船橋市の高齢者交通事故多発地域における事故発生要因の分析 桐原一紘	住民協働型デマンドタクシーの運行改善評価 —千葉県市原市の市津地区への適用— 牧岡 輝
信号交差点における法定外矢羽根型路面表示が自転車通行位置に与える影響分析 大熊真史	公共交通不便地域における住民協働を目指した公共交通整備 —千葉県君津市小糸・清和地区を例として— 皆越 衛
路上駐車車両が自転車の車道通行に与える影響分析 櫻井将貴	コミュニティバスの利便性向上に向けた住民協働の可能性の検討 —千葉県我孫子市における公共交通が不満な自治会を例として— 川北健司
端末物流活動が歩行者交通に与える影響に関する研究 全 滯央奈	地域愛着と公共交通不満足意識の関連性評価 —千葉県我孫子市における公共交通が不満な自治会を例として— 豊崎拓也
生活道路の流入入部における交通実態の分析 —千葉県船橋市習志野台を対象として— 田中雄太	障がい者等の外出支援を担う介護タクシーの利用実態分析 —千葉県市川市の介護タクシー事業者の運行データを用いて— 西田慎太郎
貨物車のビッグデータを用いた小型貨物車集中地区の要因分析 鳥居祐乃介	立地適正化計画のコンパクト化に基づいた都市的配置の定量化 岡 準一郎
高層建築物における館内共同配送の効果分析 森 智裕	シーニックバイウエイを構成する観光要素の評価 —「シーニックバイウエイ北海道」を例として— 土屋直人
高齢者の道路横断判断に関する一分析 松村恵多	国道44号におけるエゾシカのロードキルの発生要因分析 田辺弘太
生活道路交差点における突起による車いすへの振動影響分析 宮沢桂市	

■ **交通システム研究室** (福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授) ……
バンコクにおけるVSPを用いた自動車燃料消費量の分析
堀 聡史

道路区分を考慮したVSPと自動車燃料消費量に関する基礎的研究
米窪大輝

Bluetoothを用いた旅行速度の推定におけるデータ取得特性の把握
大津拓馬

Bluetoothにより推定した交差点方向別交通量と実測データとの比較分析
渡邊雄也

Bluetoothによるバンコクのリンク間交通状態の空間分析
西尾雄貴

スマートフォン・アプリを用いた複数経路の走行状態に関する分析
倉持亮太

インド・アーメダバードにおけるプローブデータによるバス走行状態の把握
石原正章

インド・アーメダバードにおける車載カメラを用いた交通状態の把握
矢作将平

乗り合いタクシーをアクセス交通に考慮した際の交通手段選択に関する研究
高橋文哉

人口の集約化が住民の移動コストに与える影響
谷野正和
成田空港地域における市民参画型の交通課題地図作成
福澤将太【石田東生】

マイクロ交通シミュレーションを用いたタイの交通事故多発地点における対策一覧の作成
関根泰希

バンコク都市鉄道駅周辺の空間における夜間の明るさを考慮したウォークビリティの評価
渡辺雄貴

Analysis of P&R Usage in Bangkok Metropolitan Region
—Case of Adjacent Area along Purple Line—
沼 義人

バンコクにおける着地調査による交通行動の分析
友貞憲人
タイ・コンケンオートバイによるP&BR利用実態分析
田川竜成

Evaluation of Adaptation Policy for Flooding Impacts on Urban Activities in Khon Kaen
積田典泰

タイにおける高速鉄道整備による集積効果の推計
ヌカムディー ポーンテープ

応用一般均衡モデルを用いた道路貨物輸送業の生産性向上が産業に与える影響の分析
國府田将紘

■ **運輸交通計画研究室** (轟 朝幸 教授)……………
都市高速道路における事故の重大性を考慮した交通事故リスク要因分析
赤石直也

歩行者と自転車の混在を考慮したセグウェイ挙動の分析
伊藤聡志

航空事故リスク信頼区間の推定に関する研究
川島拓也

交通環境に着目した幹線道路における交通事故発生リスク地域比較分析
杉山大樹

予測時点の違いを考慮した路線バスの遅延時間予測モデル
高野泰志

鳥種別個体数に着目したバードストライクリスク要因分析
只尾龍渡

長野県下條村における建設資材支給事業が地域愛着に与える影響
檜垣悠斗

アイマークレコーダーを用いた操縦技量評価指標の検討
横田直史

観光形態に着目したクルーズ旅行の競合分析
築瀬和也

利用経験の有無に着目したクルーズ船利用意図形成機構の比較分析
山口尚矩

■ **道路交通研究室** (安井一彦 准教授・池田隆博 助教) ………
交通規制用保安施設の安全性に関する研究
—耐風性能について—
三浦寛史

小舗石舗装を用いたハンプの速度抑制効果に関する研究
石川雅大

歩行者の交差点横断挙動と道路交通法の理解に関する研究
—高齢者を対象として—
板橋和輝

日本と韓国の交通事故発生状況と社会的背景の関係に関する研究
森 賢宇

踏切での一時停止規制とドライバーの運転挙動に関する研究
吉田佑也

無信号横断歩道における車両の一時停止遵守率に関する研究
荒川雅浩

日本と諸外国における道路交通法と標識の違いに関する研究
岸 和礼

交通量と信号無視の関係に関する研究
有馬大貴
レンタカーを利用した外国人ドライバーの交通事故発生件数の推移に関する研究
—国際運転免許証所持者を対象として—
小山翔人

画像センサを活用した歩行者支援に関する検討
阿部隼弥

自動車運転支援のための道路区画線の更新に関する研究
小野拓海

自動運転支援のためのGPSによる位置情報の活用に関する研究
中山雄玖斗

複数衛星系の併用による都市道路上での車両位置の高精度化に関する研究
鈴木拓巳

衛星配置のGNSS測位特性に関する研究
胡 宇新

■ **道路マネジメント研究室** (下川澄雄 教授)……………
都市間高速道路の渋滞延伸にともなう交通状態の特性分析
齊藤 樹

ドライバーの運転特性が渋滞発生後の捌け交通量に及ぼす影響分析
永島潤也

矢羽根付き交差点における自転車と自動車の交錯と交通流への影響分析
中谷浩太郎【森田緯之】

3 枝ラウンドアバウトにおける走行挙動分析と計画設計にあ
たったの留意点 石塚和哉

ロータリー交差点を改良した環状交差点の道路構造の特徴
小林克也

ラウンドアバウトの流入判断に関する実態調査分析
鈴木悠介

幹線道路のサービス速度が都市間の旅行時間に及ぼす影響分析
河口隆俊

地方部の中心都市間において空間的位置関係を考慮した時間
サービスに関する実態分析 小西達矢

道路計画設計における潜在性能照査の意義に関する一考察
高橋駿太

道路機能の違いにみる大型車の乗用車換算係数に関する比較
分析 高橋成汰

交錯指標に基づく緩速車線をを用いた交通運用策の安全性評価
藤平航也【森田緯之】

■ 空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 助教) ……………

3 次元点群データを用いた経路探索のための位置情報検出に
関する研究 奈良部昌紀

モバイルマッピングシステムによる舗装点検の検討
前田純一

3 次元道路地図整備に向けたMMSの点群データを使用した
白線の抽出に関する研究 野田圭宏

MMSを用いた規制標識の視認性に関する街路樹の影響評価
天野建人

出来形管理要領を用いた各種地上型レーザースキャナーの特
性に関する研究 樋口智明

地上レーザースキャナを用いた公共測量マニュアルに基づく地
形測量に関する研究 河野翔矢

複数の衛星系を併用した測位の特性に関する研究 藤井万尋

準天頂衛星の併用によるGPS搬送波位相測位の精度向上効
果に関する研究 伊藤 登

3D都市モデルを用いた衛星の可視性評価に基づく衛星選択
による測位精度向上手法に関する研究 秋元優太郎

Galileoによる高精度衛星測位の特性に関する研究 棟方洗貴

携帯端末を用いた水上機離発着時の簡易的な水面情報取得に
関する研究 中島和希

VR映像を用いたバリアチェック手法に関する研究 相場翔太

VR映像を用いた景観分析のデータ作成方法に関する研究
—撮影速度を対象として— 鳴海竣介

室内型モバイルマッピングシステムを用いたサインシステムの
視認性評価に関する研究 太田耕介

■ 構造デザイン研究室 (鈴木 圭 教授・齊藤準平 助教) ……

吉野川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する
研究 堺 康造、新保孝太

日本（道路橋示方書）とヨーロッパ（Euro Code2）のコンク
リート橋の設計指針の比較に関する研究

高レベル放射性廃棄物処分場の検討
—地層処分場の3次元レイアウト（案）— 酒谷侑磨、宮下竜輔

PVA繊維を用いたコンクリート道路橋の構造挙動に関する基
礎的研究
—ひび割れ周辺のマトリクス部の損傷について— 張 撃宇

PVA繊維を用いたコンクリート道路橋の塩分浸透特性に関す
る基礎的研究
—繊維量とひび割れ幅に着目して— 郷 拳太良

車両火災による高温下のPVA繊維補強コンクリートの力学
挙動に関する実験的研究 加藤慶介

高温加熱を受けたPVA繊維補強コンクリートのAE法による
損傷度評価に関する基礎的研究 吉澤瑞季

ひび割れを有するRC部材の塩分浸透特性に関する基礎的研究
—貫通ひび割れへの塩水流下による検討— 杉山崇斗

繰り返し荷重下におけるPRC道路橋の塩分浸透特性に関す
る実験的研究
—塩分浸せき試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目し
て— 竜 岳弘

繰り返し荷重下におけるPRC道路橋の塩分浸透特性に関する
実験的研究
—電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して— 相澤 悠

圧縮荷重における端面の減摩処置に及ぼすテフロンシートの
厚みの影響 鳥羽田友規

■ 地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教) ……………

面状不織布を混入した地盤材料のせん断特性に及ぼす不織布
混入率の影響 正木崇寛

短繊維を混入した関東ロームの強度変形特性に及ぼす繰返し
載荷の影響 鈴木康平

埋設管の埋戻し材として用いた発泡ビーズ混入軽量化土の荷
重低減効果 福島和輝

竹チップを用いた歩行者系舗装の性能指標に及ぼす養生日数
の影響 衣幡拓海

構築路床の弾性係数に関する算出位置の検討 中村太耀

関東ロームの一軸圧縮強さおよびCBRに及ぼす乱れの影響
木下太一

歩行者系舗装の弾力性および衝撃吸収性に及ぼす路盤支持力
の影響 吉野大輝

PDIとMPDによる路面プロファイル評価とすべり摩擦の関
係に関する一考察 紺野直樹、杉田 廉

ジオセル補強路盤の支持力特性および応力分散効果に及ぼす
ジオセル高さの影響 中村碧斗

透水性ブロック舗装に用いる表面強化不織布の耐久性に及ぼ
す路盤状態の影響 鈴木彰人、矢谷卓己

平成29年度 教員・研究員の研究・活動 2017. 4. 1~2018. 3. 31

研究業績 2017. 4. 1~2018. 3. 31

掲載誌・出版元 題目・作品名・書名 教員名など 発表年月

交通計画研究室 (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教)

■ 著書

(公社)日本交通政策研究会 自動二輪車の交通事故分析とその活用 稲垣具志 ほか 17年4月
日交研シリーズA-682

(一社)交通工学研究会 改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル 稲垣具志 ほか 17年6月
コロナ社 土木・交通計画のための多変量解析 川崎智也 稲垣具志 寺内義典 石坂哲宏 17年7月

自由国民社 現代用語の基礎知識2018年版 小早川 悟 高田邦道 ほか 18年1月

■ 審査論文

IATSS Research (41巻2号) pp.82-88 Experimental observations on the optimal layout of orientation blocks for safe road crossing by the visually impaired Tomoyuki INAGAKI, Shoichiro FUJISAWA, Kazuya TAKAHASHI, Norihiro IKEDA, Kiyohito TAKEUCHI, Hiroshi OGINO, Satoru KOBAYAKAWA 17年7月

(一社)交通工学研究会 第37回交通工学研究発表会論文集 ドライブレコーダデータを活用した歩道における自転車の双方 17年8月
第37回交通工学研究発表会論文集 向通行に関するヒヤリハット分析 原田憲武 稲垣具志 小早川 悟

(一社)交通工学研究会 第37回交通工学研究発表会論文集 子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実 17年8月
第37回交通工学研究発表会論文集 験的研究 府川阿佐美 稲垣具志 小早川 悟 寺内義典

(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) pp. I_1211-I_1218 単路部における押ボタン式信号機の利用実態に基づく交通制御 17年12月
方式の比較評価に関する研究 細島 豪人 安井一彦 稲垣 具志 池田 隆博

(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) I_819-I_826 路外駐車施設への利用転換を考慮した時間制限駐車区間の路上 17年12月
駐車実態に関する研究 小杉拓也 稲垣具志 小早川 悟

(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) I_827-I_833 信号交差点における縦断勾配が自転車の発進挙動に及ぼす影響 17年12月
に関する研究 青山恵里 稲垣具志 小早川 悟 森田緯之 佐田達典 岡本直樹

(一社)交通工学研究会 交通工学論文集特集号 (4巻1号) A23-A29 歩道における自転車の双方向通行に着目したヒヤリハット分析 18年2月
—タクシー搭載ドライブレコーダを用いた錯綜評価— 原田憲武 稲垣具志 小早川 悟 山中英生

(一社)交通工学研究会 交通工学論文集特集号 (4巻1号) A30-A37 子どもの道路横断判断教育に向けた保護者の実態認識に関する 18年2月
実験的研究 府川阿佐美 稲垣具志 小早川 悟 寺内義典

■ 口頭発表

ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 方向定位付きLED発光ブロックの全盲者向け敷設位置の検証 永濱秀明 藤澤正一郎 佐藤克也 伊藤伸一 稲垣具志 池田典弘 竹内聖人 荻野 弘 高橋和哉 17年5月

AHFE2017 International Conference on Human Factors in Transportation Verification of Installed Position of LED Block Equipped with Projections to Indicate Travel Direction Tomoyuki INAGAKI, Hideaki NAGAHAMA, Norihiro IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Kiyohito TAKEUCHI, Hiroshi OGINO, Katsuya SATO, Shin-ichi ITO, Shoichiro FUJISAWA 17年7月

6th International Conference on Civil Engineering An Analysis on Discharging Behavior of Bicycles for Estimating Bicycle's Saturation Flow Rate at Signalized Intersections Eri Aoyama, Satoru Kobayakawa, Tomoyuki Inagaki, Hirohisa Morita 17年8月

6th International Conference on Civil Engineering How to Distribute Relief Goods at the Large Scale Earthquake -Learning from Japan Earthquake in 2011 and 2016- Satoru Kobayakawa, Hisanari Ushirooka, Tomoyuki Inagaki, Kiwamu Hasegawa 17年8月

(一社)日本建築学会 2017年度日本建築学会大会 パラリンピック競技者のニーズと大会運営の実態 競技場・スポーツ施設利用時に求められるアクセシビリティに 17年8月
関する研究 その2 前田裕実 松田雄二 石橋達勇 稲垣具志 井本佐保里 永峰麻衣子

(公社)土木学会 第56回土木計画学研究発表会 保護者による子どもの道路横断判断教育を想定した実験的考察 府川阿佐美 稲垣具志 小早川 悟 寺内義典 17年11月

第61回日本大学理工学部学術講演会	小規模店舗が集積する地区における貨物車の路上駐車発生実態に関する研究	姚 奇魏 小早川 悟	17年12月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	時間制限駐車区間の運用条件が路上駐車実態に与える影響	小杉拓也 小早川 悟 稲垣具志	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	小規模店舗が集積する地区における貨物車の発生集中実態に関する研究	姚 奇魏 小早川 悟	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	熊本地震における建物倒壊による道路閉塞状況に関する研究	長谷川 究 芳賀卓朗 小早川 悟 後岡寿成	18年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）			
TBS ひるおび	車が病院に突入	小早川 悟	17年5月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第38巻第7号	埼玉県教育委員会が三不見直し検討委員会開催	稲垣具志	17年6月
(一財)日本交通安全教育普及協会 交通安全教育 (615巻)	ドライブレコーダを活用した自転車のヒヤリハット分析～自転車の通行方法に着目した安全性評価～	稲垣具志	17年6月
(一社)日本住宅協会 住宅 (66巻7号) pp.15-20	視覚障害者が歩きやすい道路空間の整備視点	稲垣具志	17年7月
サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.88, Vol.668, pp.42-43	シェアサイクルシステムの継続的な利用環境の改善	小早川 悟	17年7月
ビーディーエス BDS REPORT PLUS 建通新聞	埼玉県、有識者委員会設置し3不撤廃の有無について議論を	稲垣具志	17年7月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第38巻第9号	災害ゼロを誓う 坪井工業が安全大会	稲垣具志	17年7月
(公社)日本都市計画学会 都市計画 (vol.66, no.5)	埼玉県教育委員会第4回高校生の自動二輪車等の交通安全に関する検討委員会	稲垣具志	17年8月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第38巻第10号	ビッグデータを用いた小型貨物車集中地区の抽出方法の検討ー東京都市圏物資流動調査データを用いて	小早川 悟	17年9月
埼玉新聞	埼玉県教育委員会第5回高校生の自動二輪車等交通安全検討委員会	稲垣具志	17年9月
千葉日報	高校生のバイク運転 安全対策など議論 県教委の専門家委員会	稲垣具志	17年9月21日
本田技研工業㈱ Hondaの交通安全情報紙 The Safety Japan	高齢者の事故防止考察 船橋で交通安全フォーラム	稲垣具志	17年10月27日
ベターライフ出版 ベタータイムス 第38巻第11号	高校生のバイク利用を前提とした交通安全教育について議論	稲垣具志	17年10月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第38巻第11号	第5回BIKE LOVE FORUM in 前橋・群馬 パネルディスカッション、高校生に対する交通安全教育の推進、日大・稲垣助教ら	稲垣具志	17年10月
サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.92, Vol.672, pp.20-21	第6回埼玉県教育委員会高校生二輪車等交通安全検討会	稲垣具志	17年10月
ライジング出版 Bicycle City Vol.46, pp.41-46	自転車未来都市宣言！ BICYCLE CITY EXPO 2017	小早川 悟	17年11月
サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.93, Vol.673, pp.26-27	自転車活用推進法と自転車のまちづくり	小林成基 古倉宗治 疋田 智 小早川 悟	17年11月
ライジング出版 Bicycle 21 vol.171, pp.46-48	「都市における自転車利用とまちづくり」セミナー 名古屋、東京2会場で開催	小早川 悟	17年12月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第39巻第1号	自転車活用推進法と自転車のまちづくり	小林成基 古倉宗治 疋田 智 小早川 悟	17年12月
ライジング出版 Bicycle 21 vol.172, pp.42-45	自転車を活用したまちづくり	小早川 悟	18年1月
ライジング出版 Bicycle City Vol.48, pp.83-87	自転車を活用したまちづくり (前編)	小早川 悟	18年1月
レスポンス	埼玉県、バイク3不運動の旗降ろすー安全教育に新たな指導要項を策定へ	稲垣具志	18年1月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第39巻第2号	埼玉県「三不見直し素案」叩き台の検討委員会	稲垣具志	18年1月

フジテレビ さまぁ〜ずの神ギ間	一方通行の方向ってどうやって決めているの？	小早川 悟	18年2月
テレビ埼玉 ニュース930	検討委が報告書提出 高校生のバイク「三不運動」見直しへ	稲垣具志	18年2月
ベターライフ出版 ベタータイムス 第39巻第3号	埼玉県の「三不」は廃止へ、平成31年指導要項改正へ	稲垣具志	18年2月
毎日新聞	県教委 37年ぶり見直しへ バイクの「3不運動」	稲垣具志	18年2月21日
埼玉新聞	「三不運動」廃止へ 県教委 新指導要項を検討	稲垣具志	18年2月21日
東京新聞	県立高校生にバイク禁止 三不運動廃止	稲垣具志	18年2月23日
ライジング出版 Bicycle City Vol.48, pp.93-96	自転車を活用したまちづくり (後編)	小早川 悟	18年3月

空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 助教)

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.121-127	距離画像センサを用いた屋内における平面情報取得に関する実験	江守 央 佐田達典	17年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.129-137	モバイルマッピングシステムによる曲線部計測時の精度と補正効果の検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	17年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.167-177	低仰角時における準天頂衛星のL6信号による測位補強の有効性に関する実験	佐田達典 田中勇太 池田隆博 江守 央	17年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.109-119	準天頂衛星の併用によるGPS測位の鉛直方向精度の向上効果に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	17年7月
(公社)土木学会 土木学会論文集 F3 (土木情報学) (73巻2号)	高精度マルチGNSSによる衛星電波遮蔽環境下における走行位置精度検証	江守 央 菊田和雄 佐田達典 酒井昂紀	18年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集 F3 (土木情報学) (73巻2号)	準天頂衛星の併用によるGPS搬送波位相測位における鉛直方向精度の向上効果に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	18年3月

■口頭発表

(一社)日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会	Google Earthを用いた当事者参加型バリアチェック手法に関する研究ー文化遺産周辺を対象にー	菅沼 崇 江守 央	17年8月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	歩道計測型MMSを用いた歩道空間のバリア評価に関する研究	江守 央 佐田達典	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	高仰角に位置するQZSSの併用による鉛直方向精度の向上効果に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	MMSの曲線部計測時における標定点を用いた補正効果の検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	17年9月
(公社)土木学会 第42回土木情報学シンポジウム	準天頂衛星の併用によるGPS搬送波位相測位における鉛直方向精度の向上効果に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	17年9月
(公社)土木学会 第42回土木情報学シンポジウム	高精度マルチGNSSによる衛星電波遮蔽環境下における走行位置精度検証	江守 央 菊田和雄 佐田達典	17年9月
日本交通学会 第76回研究報告会・会員総会	水上飛行機の活用に向けた北米における水域利用の実態と課題	江守 央 轟 朝幸 川崎智也	17年10月
(一社)測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2017	準天頂衛星の併用によるGPS搬送波位相測位の精度に関する研究	伊藤 登 佐田達典 江守 央 酒井昂紀	17年11月
(一社)測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2017	Galileoを用いた衛星測位の精度に関する研究	棟方洗貴 佐田達典 江守 央 酒井昂紀	17年11月
第61回日本大学理工学部学術講演会	高仰角に位置するQZSSの併用によるGPSの鉛直方向精度の向上効果に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	VRを用いたバリアチェック手法に関する研究	相場翔太 江守 央 佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	室内型モバイルマッピングシステムを用いたサインシステムの視認性評価に関する研究	太田耕介 江守 央 佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	複数の衛星系を併用した測位における最適な衛星選択に関する研究	藤井万尋 佐田達典 江守 央	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	3次元点群データを用いた移動の連続性確保のためのバリア評価に関する研究	奈良部昌紀 佐田達典 江守 央	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムによる舗装点検の検討	前田純一 佐田達典 江守 央	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	3D都市モデルデータを用いた観測点からの衛星可視性と衛星測位精度の関係の検討	秋元優太郎 佐田達典 江守 央	17年12月

第61回日本大学理工学部学術講演会	準天頂衛星の併用によるGPS搬送波位相測位の精度向上に関する研究	伊藤 登 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	出来形管理要領を用いた各種地上型レーザースキャナーの特性に関する研究	樋口智明 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	3次元道路地図の整備のための3次元点群データの処理に関する研究	野田圭宏 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	地上レーザスキャナの高さ方向の精度に関する研究	河野翔矢 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	VRを用いた景観分析のデータ作成方法に関する研究	鳴海峻介 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	Galileoによる衛星測位の精度に関する研究	棟方沈貴 江守 央	佐田達典	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会 特別セッションS1「理工学研究所講演会」	最新UAVでの計測技術の現状と課題	江守 央		17年12月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）				
(公社)土木学会 土木学会誌（102巻6号） pp.24-29	ICT・ロボット技術の最先端 —建設生産現場の将来ビジョンを描く—	佐田達典	森 博昭	17年6月
(一財)日本経済団体連合会 週刊 経団連タイムス	空港のユニバーサルデザインへの取り組みと課題について検討	江守 央		17年11月
(一社)東京都測量設計業協会 東測協2018 pp.12-14	新技術を活用した授業による次世代技術者の育成	佐田達典		18年1月
道路マネジメント研究室（下川澄雄 教授・吉岡慶祐 助手）				
■審査論文				
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集特集号（4巻1号） A_47-A_54	ラウンドアバウトの幾何構造が走行挙動特性に与える影響分析	吉岡慶祐 下川澄雄	中村英樹 森田緯之	18年2月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集特集号（4巻1号） A_55-A_63	中間速度を実現するための道路構造条件の分析	下川澄雄 吉岡慶祐	小山田直弥 森田緯之	18年2月
■口頭発表				
TRB 5th International Conference on Roundabouts	Vehicle Behavior Analysis and Safety Evaluation for Roundabouts in Japan	Keisuke YOSHIOKA, Hideki NAKAMURA, Sumio SHIMOKAWA, Hirohisa MORITA		17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	交差角度の異なるラウンドアバウトにおける車両挙動分析	小久保智朗 吉岡慶祐	下川澄雄	17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	地方部の都市間連絡におけるサービス水準の実態とその特徴	齊藤浅里 吉岡慶祐	下川澄雄 野平 勝	17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	ラウンドアバウト幾何構造設計の安全性評価指標に関する検討	吉岡慶祐 下川澄雄	中村英樹 森田緯之	17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	日独における都市間連絡における旅行時間の実態と課題	野平 勝 吉岡慶祐	下川澄雄 齊藤浅里	17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	道路機能の階層性を考慮した道路整備計画検討に関するケーススタディ	立松秀樹 下川澄雄 中村英樹	渡部数樹 後藤 梓	17年5月
(公社)土木学会 第72回年次学術講演会	転回路付き緩車線を用いた交通運用策の提案と適用可能な交通条件	茂木翔平 森田緯之 山川英一	下川澄雄 吉岡慶祐	17年8月
(一社)交通工学研究会 第37回交通工学研究発表会	ラウンドアバウトの幾何構造が走行挙動特性に与える影響に関する分析	吉岡慶祐 下川澄雄	中村英樹 森田 緯之	17年8月
(一社)交通工学研究会 第37回交通工学研究発表会	中間速度を実現するための道路構造条件の分析	下川澄雄 小山田直弥	吉岡慶祐 森田 緯之	17年8月
12th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	An Analysis on Impact of Roundabout Geometric Elements on Driving Behavior	Keisuke YOSHIOKA, Hideki NAKAMURA, Sumio SHIMOKAWA, Hirohisa MORITA		17年9月
第61回日本大学理工学部学術講演会	札の辻交差点における大型車の乗用車換算係数に関する研究 —1986年 道路の交通容量との比較—	中林 悠 吉岡慶祐	下川澄雄 高橋成汰	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	ラウンドアバウトにおける交差角度の違いによる走行挙動分析	石塚和哉 吉岡慶祐	下川澄雄 小久保智朗	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	ドライバーの運転特性が渋滞発生後の捌け交通量に及ぼす影響分析	永島潤也 吉岡慶祐	下川澄雄	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	道路機能の違いにみる大型車の乗用車換算係数に関する比較分析	高橋成汰 吉岡慶祐	下川澄雄 中林 悠	17年12月

(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	ラウンドアバウトの外径と交差角度の組み合わせを考慮した車両挙動分析	小久保智朗 下川澄雄	吉岡慶祐	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	3枝ラウンドアバウトにおける走行挙動分析と計画設計にあたっての留意点	石塚和哉 吉岡慶祐	下川澄雄 小久保智朗	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	ロータリー交差点を改良した環状交差点の道路構造の特徴	小林克也 吉岡慶祐	下川澄雄	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	道路計画設計における潜在性能照査の意義に関する一考察	高橋駿太 吉岡慶祐	下川澄雄 齊藤浅里	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	都市間高速道路における渋滞発生現象に関する一考察	酒井克典 吉岡慶祐	下川澄雄 齊藤 樹	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	道路の機能と大型車の車長を考慮した大型車の乗用車換算係数の比較分析	中林 悠 吉岡慶祐	下川澄雄 高橋成汰	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	ドライバーの運転特性の違いが渋滞発生後の捌け交通量の特性に関する一考察	永島潤也 吉岡慶祐	下川澄雄 酒井克典	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	矢羽根付き交差点における自転車と自動車の交錯と交通流への影響分析	中谷浩太郎 森田緯之	下川澄雄 吉岡慶祐	18年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）				
日刊建設工業新聞	大学生68人が舗装技術学ぶ	下川澄雄		17年11月●日
構造デザイン研究室（鈴木 圭 教授・齊藤準平 助教）				
■著書				
コロナ社	橋梁デザインの実例 —その歴史から現在のデザインコンペまで—	鈴木 圭		18年3月
■審査論文				
(公社)コンクリート工学会 コンクリート工学年次論文集（39巻） pp.679-684	電気泳動法を用いたPRCはりのひび割れ領域部における塩分浸透特性に関する実験的検討	齊藤準平	下邊 悟	17年7月
(公社)プレストレストコンクリート工学会 第26回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集 pp.93-98	繰返し荷重下におけるコンクリートの塩分浸透特性	齊藤準平	下邊 悟	17年10月
■口頭発表				
(公社)土木学会 第37回土木史研究発表会	欧州の橋梁景観の考え方に関する歴史の変遷について	鈴木 圭		17年6月
(公社)土木学会 第72回年次学術講演会	PRCはりのひび割れ領域部のコンクリートにおける塩分浸透方向とその特性に関する検討	齊藤準平	下邊 悟	17年9月
(公社)土木学会 第13回景観・デザイン研究発表会	浮庭橋の景観設計について	鈴木 圭		17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	高性能デジタルマイクロスコープを用いたPVA繊維補強コンクリートのひび割れ抵抗性に関する基礎的研究	張 擎宇 加藤慶介	郷拳太良 齊藤準平	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	ひび割れを有するRC部材の塩分浸透特性に関する基礎的研究 —貫通ひび割れにおける塩分濃度分布—	杉山崇斗 竜 岳弘	相澤 悠 齊藤準平	17年12月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	繰り返し荷重下におけるPRC道路橋の塩分浸透特性に関する研究 —電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して—	相澤 悠 杉山崇斗	竜 岳弘 齊藤準平	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	繰り返し荷重下におけるPRC道路橋の塩分浸透特性に関する研究 —塩分浸せき試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して—	竜 岳弘 杉山崇斗	相澤 悠 齊藤準平	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	車両火災による高温下のPVA繊維補強コンクリートの挙動に関する実験的研究	加藤慶介 郷拳太良	張 擎宇 齊藤準平	18年3月
運輸交通計画研究室（轟 朝幸 教授・兵頭 知 助手）				
■著書				
成山堂書店	災害と空港 救援救助活動を支える空港運用	轟 朝幸	引頭雄一 花岡伸也 長田哲平 荒谷太郎	18年2月
■審査論文				
Transportation Research Procedia（21巻） pp.169-179	An analysis of the impact of driving time on the driver's behavior using probe car data	Satoshi Hyodoa, Tohio Yoshii, Matsumura Satoshi, Shirayanagi Hirotochi		17年4月
International Association of Maritime Economics (IAME) 2017 Conference	Attitude Modification of Attention, Consideration, and Action for Initial Use of Cruise Ship Tourism in Japan	Kawasaki, T., Todoroki, T., Hyodo, S., Inokuchi, K.		17年6月

(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) I_799-I_808	日本発着クルーズ客船観光の潜在的需要分析	川崎智也 轟 朝幸 小更涼太 井口賢人	17年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) I_897-I_908	高知県を対象とした南海トラフ巨大地震発災後の航空機運用方法の検討	川崎智也 荒谷太郎 轟 朝幸 古川詩乃	17年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) I_1201-I_1209	沿道状況に着目した幹線道路における追突事故発生リスクの地域差に関する分析	兵頭 知 吉井稔雄 柴崎宏武	17年12月
■口頭発表			
(公社)自動車技術会 2017年春季大会学術講演会	道路環境の違いに着目した交通事故発生リスクに関する分析	兵頭 知 吉井稔雄 柴崎宏武	17年5月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	ICカードデータを活用した公共交通利用者の利用間隔の変化に関する基礎分析	西内裕品 力石 真 兵頭 知 轟 朝幸	17年6月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	クルーズ船初回利用時に着目した態度・行動変容分析	川崎智也 井口賢人 轟 朝幸 兵頭 知	17年6月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	事故の重大性を考慮した都市高速道路における交通事故リスク要因分析	兵頭 知 轟 朝幸 吉井稔雄	17年6月
(公社)土木学会 第55回土木計画学研究発表会	交通環境と運転特性に着目した交通事故発生リスクの地域差に関する考察	柴崎宏武 吉井稔雄 兵頭 知	17年6月
(一社)交通工学研究会 交通工学第7回若手交流会	沿道状況に着目した幹線道路における追突事故発生リスクの地域差に関する分析	兵頭 知	17年8月
6th International Conference on Civil Engineering	Estimation of Transport Modal Share by Introducing Seaplane -Case Study on Western Japan Area	Haruna Komiyama, Tomoyuki Todoroki, Satoshi Hyodo	17年9月
6th International Conference on Civil Engineering	ANALYSIS OF THE USER BENEFITS ON JAPANESE DEPARTURES BY AIRPORT'S CAPACITY EXPANSION AT THE TOKYO METROPOLITAN AIRPORTS	Tomoya Nishizono, Tomoyuki Todoroki, Satoshi Hyodo	17年9月
日本交通学会 第76回研究報告会・会員総会	ICカードデータを用いた包絡分析法によるバス路線評価に関する基礎的研究~とさでん交通バス路線を例に	西内裕品 兵頭 知 轟 朝幸	17年10月
交通システム研究室 (福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授・マーライタム サティター 助手)			
■著書			
コロナ社	土木・交通計画のための多変量解析 第7章、第8章、第10章4節	川崎智也 稲垣具志 寺内義典 石坂哲宏	17年7月
■審査論文			
12th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	Estimation of Access Mode Choices based on Walkable Environment Index in Bangkok, Thailand	Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN, Tetsuhiro ISHIZAKA	17年9月
12th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	Observation of Traffic State Based on Mac Address Matching by Using Bluetooth	Thana Potanon, Pitchaya Panwan, Tetsuhiro Ishizaka, Sorawit Narupiti, Atsushi Fukuda	17年9月
CODATU XVII Conference	IMPACTS OF FUEL CONSUMPTION REDUCTION BY HYBRID CAR PROMOTION IN BANGKOK	Atsushi Fukuda, Napon Srisakda, Tetsuhiro ISHIZAKA	17年11月
CODATU XVII Conference	Estimating Missing Path on Trajectories Trip by Using Bluetooth Technology	Thana Potanon, Pitchaya Panwan, Tetsuhiro Ishizaka, Sorawit Narupiti, Atsushi Fukuda	17年11月
Engineering and Applied Science Research (EASR), Vol.44, No.4, pp.222-226	Impact on fuel consumption reduction of introducing hybrid cars in Bangkok using probe information and mobile fuel measurement	Atsushi FUKUDA, Napon SRISAKDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sathita MALAITHAM	17年11月
■口頭発表			
Transportation Science Society of the Philippines 2017 Technical Session 1	Study on Walkability around Stations of Urban Railway in Bangkok	Hironori OZAWA, Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA	17年7月
The 10th ATRANS Annual Conference	Analysis of Car Sharing Usage in the Community Sctruck by the Disaster	Kenta OKUTSU, Atsushi FUKUDA, Tuenjai FUKUDA	17年8月

6th International Conference on Civil Engineering	MEASUREMENT OF AGGLOMERATION EFFECTS OF HIGH SPEED RAIL DEVELOPMENT	Daichi NAOI, Yohei HIGASHIYAMA, Atsushi FUKUDA	17年8月
6th International Conference on Civil Engineering	Evaluation of Walkability around Urban Railway Stations in Bangkok	Hironori OZAWA, Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA	17年8月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	Evaluation of Punctuality in Fixed Route Bus by Using Simulation	橋本諒平 福田 敦 石坂哲宏	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	APPLICATION OF VEHICLE SPECIFIC POWER MODEL TO MICRO TRAFFIC SIMULATION	峰岸達也 石坂哲宏	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	ESTIMATION OF URBAN COMPACT INDEXES IN THE THREE CITIES OF SOUTHEAST ASIA -CASE STUDY OF KHON KAEN, VIENTIANE AND DA NANG	中川康也 菊池治紀 石坂哲宏	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	Evaluation of Policy Scenarios by Using MARS Model in Mueang Khon Kaen, Thailand	瀧川大樹 菊池治紀 福田 敦 石坂哲宏	17年9月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	BluetoothMACアドレスによる交通状態推定方法の検証 -実測とマイクロ交通シミュレーションを用いて-	青柳達也 石坂哲宏 安藤正志	17年9月
12th International Conference of Eastern Asia Society For Transportation Studies	Comparison of Walkability around Urban RailwayStations in Bangkok and Tokyo	Hironori OZAWA, Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA	17年9月
12th International Conference of Eastern Asia Society For Transportation Studies	Analysis of Car Sharing Usage in the Community Sctruck by the Disaster	Kenta OKUTSU, Atsushi FUKUDA, Tuenjai FUKUDA	17年9月
第61回日本大学理工学部学術講演会	タイ・チェンマイ市の幹線道路における信号機設置による右 折・直進交通の時差分離の検討 ~国道118号線と1007号線の分岐箇所~	入江達也 石崎裕大 田中佑次郎 堀川直輝 渡辺翔太 福田 敦 石坂哲宏	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	交差点部におけるLRT導入を考慮した実態調査と影響分析 -タイ・チェンマイ市 Central Plaza Airport 前を対象として-	サティター マーライタム 中川康也 橋本諒平	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	LRT導入におけるマイクロ交通シミュレーションを用いた交通影 響分析 -タイ・チェンマイ市 Phu-Kham 交差点を対象として-	岡 凌大 釘井里紗子 佐藤孝宣 砂塚知希 関口恵生 山川裕也 福田 敦 石坂哲宏 瀧川大樹 直井大地	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	Speed sign と Speed camera による速度低下の検証 -タイ・チェンマイ市 国道118号線を対象として-	坂井瑞樹 鈴木壮真 畠山倅穂 藤田鴻汰 大和田勝紀 福田 敦 石坂哲宏	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	タイ・チェンマイ市におけるシェアサイクルの現状把握と持続 可能な交通の実現に向けた提案	サティター マーライタム 峰岸達也 小澤弘典	17年12月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	バンコク首都圏におけるP&Rの利用実態分析 -パープルライン沿線を対象として-	宮口友谷 生嶋杏菜 渡部拓大 木下航記 松嶋大暉 鈴木 耀 福田 敦 石坂哲宏 サティター マーライタム 奥津健太	17年12月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	交通・土地利用に着目した洪水発生時に対する中長期の適応策 の評価 -開発途上国の中規模都市を対象として-	御代川岳 飯沼 巧 杉山 海 鈴木悠介 土井悠輔 宮口友谷 福田 敦 石坂哲宏 サティター マーライタム	17年12月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	移動体に搭載したBluetoothスキャナの検知確率推定モデルの 構築	沼 義人 Malaitham Sathita 小澤弘典 福田 敦	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	バンコクにおけるVSPを用いた自動車燃料消費量の分析	積田典泰 菊池治紀 福田 敦 石坂哲宏	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	高速鉄道整備による集積の効果の推計 -タイを事例として-	青柳達也 石坂哲宏	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	道路貨物輸送業の生産性向上で生じる経済効果の推計 -188部門応用一般均衡モデルを用いて-	堀 聡史 石坂哲宏	18年3月
■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
Economic Research Institute for ASEAN and East Asia ERIA Research Project Report 2016-04	Addressing Energy Efficiency in the Transport Sector Through Traffic Improvement	Ichiro KUTANI, Atsushi FUKUDA, et al.	17年9月

デイリーニュース (タイ) 12面	「日本からの視点、10年掛かっても交通事故問題の解決には遅くない」(タイ語)	福田 敦	17年12月18日
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-671	自動運転と損害賠償責任「自動運転車が関与する交通事故被害者の救済は現行法の体系で処理可能なのか」	福田弥夫 石坂哲宏 ほか	18年1月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-672	交通ネットワーク分析を統合したSCGEモデルによるリニア中央新幹線の便益評価 —便益と実質GDP変化との関係の整理を中心に—	森杉壽芳 福田 敦 東山洋平 ほか	17年4月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-706	動学SCGEモデルによる道路網形成便益の計算	森杉壽芳 福田 敦 東山洋平 ほか	17年11月
(一社)交通工学研究会 共同研究報告書	交通管制のための交通状況と交通需要の推定技術	石坂哲宏 福田 敦	18年2月

交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授 (理工学部海外派遣))

■審査論文

(一社)日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会 コメンテーター付き論文	心のバリアフリーのスパイラルアップに向けた行動マニュアルの運用・評価に関する研究	藤井敬宏 星野義行 高橋 実	17年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会 コメンテーター付き論文	保育送迎時の移動負担と施設立地状況に関する研究	長野博一 藤井敬宏 明渡隆浩 庄子美優紀	17年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会	東京都区部におけるバリアフリーマップの作成・運用状況からみた観光行動支援への有用性	田中絵里子 藤井敬宏	17年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第20回全国大会	デマンドタクシー導入時における住民協議会の維持・継続に向けた取り組み	藤井敬宏 中台正樹 中村秀雄	17年8月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	トラベルコスト法を用いたシーニックバイウエイの経済効果の推計 —冬季におけるシーニックバイウエイ北海道 大雪・富良野ルート为例として—	田平将大 中家智之 伊東英幸 藤井敬宏	17年9月
第61回日本大学理工学部学術講演会	都市別のコンパクトシティ・プラス・ネットワークの取り組みに関する研究	飯村一樹 岡準一郎 藤井敬宏	17年12月
第61回日本大学理工学部学術講演会	公共施設の職員の介護資格の有無による気づきの対応について—千葉県市原市における「心のバリアフリー」のPDCAサイクル取り組み—	酒井椋平 藤井敬宏 高橋 実	17年12月

■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

日本大学FD研究研究 第6号	日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー (FDer) の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討 —全学FDワークショップ参加者に対する調査結果から—	小宮山 道 藤井敬宏 ほか9名	18年3月
日本大学FD研究研究 第6号	日本大学における学生参画型FD活動の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討	森丘保典 藤井敬宏 ほか9名	18年3月

地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教)

■審査論文

(公社)地盤工学会 第12回環境地盤工学シンポジウム発表論文集 pp.209-212	粘性土を用いた転炉スラグ混合土のせん断および膨張特性に及ぼす配合条件の影響	山中光一 峯岸邦夫 吉澤千秋	17年9月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 (32巻) pp.19-24	ジオセル補強路盤の強度変形特性および応力分散効果による路盤厚低減に関する検討	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹	17年11月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 (32巻) pp.183-188	粘性土を用いた短繊維混合補強土の強度変形特性に及ぼす繊維特性の影響	山中光一 峯岸邦夫	17年11月
(公社)地盤工学会 第52回地盤工学研究発表会	粘性土を用いた短繊維混合補強土の強度変形特性に及ぼす目合いおよび剛性の影響	山中光一 峯岸邦夫	17年7月
(公社)地盤工学会 第52回地盤工学研究発表会	混合地盤材料の力学特性に及ぼす材料特性の影響	伊藤友哉 山中光一 峯岸邦夫	17年7月
(公社)地盤工学会 第52回地盤工学研究発表会	関東ロームの安定処理における攪拌が物理特性およびCBRに及ぼす影響	岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	17年7月
(公社)地盤工学会 第52回地盤工学研究発表会	ジオセル補強地盤の応力低減効果に及ぼす相対密度の影響	谷口成樹 峯岸邦夫 山中光一 伊藤友哉	17年7月

■口頭発表

(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	段階式繰返し載荷試験によるジオセル補強地盤の支持力特性および応力分散効果	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹	17年9月
(公社)日本道路協会 第32回日本道路会議	ジオセルを用いた補強路盤の支持力特性および応力分散効果	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	粘性土に面状補強材を混合した地盤材料の補強効果に及ぼす不織布厚さの影響	正木崇寛 峯岸邦夫 山中光一	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	竹炭材チップを用いた歩行者系舗装の性能指標	衣橋拓海 山中光一 峯岸邦夫 番場裕治	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	透水性ブロック舗装に用いる不織布の湿潤状態における耐久性評価	鈴木彰人 峯岸邦夫 山中光一 小野寺貴史 柳沼宏始 矢谷卓己	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	ジオセル補強路盤の路盤厚に及ぼす地盤内応力の影響	中村碧斗 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹 伊藤友哉	17年11月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	関東ロームの一軸圧縮強さおよびCBRに及ぼす乱れの影響	木下太一 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	路面粗さとすべり摩擦の関係に及ぼす路面凹凸深さの影響	杉田 廉 山中光一 峯岸邦夫 紺野直樹	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	ジオセル補強地盤の支持力および地盤内鉛直応力に及ぼすジオセル高さの影響	谷口成樹 山中光一 峯岸邦夫 伊藤友哉	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	歩行者系舗装の各種性能指標の関係性に関する一考察	吉野大輝 山中光一 峯岸邦夫	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	第Ⅲ部門 補強土・新土質材料	峯岸邦夫	18年3月

6th International Conference on Civil Engineering	DURABILITY EVALUATION OF REINFORCEMENT GEOSYNTHETICS USING WATER PERMEABILITY CONCRETE BLOCK PAVEMENT	Kunio MINEGISHI, Kohichi YAMANKA, Takashi ONODERA, Mutsuo ITO, Hiroshi YAGINUMA	17年8月
6th International Conference on Civil Engineering	Effect of Fiber Performance on Strength Property of Short Fiber Reinforced Soil Using Kanto loam	Takayuki OKADA, Kunio MINEGISHI, Kohichi YAMANKA, Hiroaki WAKATSUKI	17年8月
6th International Conference on Civil Engineering	Effects of Mixing Ratio on Compaction and Shear Characteristics of Cohesive Soil Mixed with Steel Slag	Kunio MINEGISHI, Kohichi YAMANKA, Shigeki YAGUCHI, Chiaki YOSHIZAWA	17年8月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	段階式繰返し載荷試験によるジオセル補強地盤の支持力特性および応力分散効果	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹	17年9月
(公社)日本道路協会 第32回日本道路会議	ジオセルを用いた補強路盤の支持力特性および応力分散効果	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	粘性土に面状補強材を混合した地盤材料の補強効果に及ぼす不織布厚さの影響	正木崇寛 峯岸邦夫 山中光一	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	竹炭材チップを用いた歩行者系舗装の性能指標	衣橋拓海 山中光一 峯岸邦夫 番場裕治	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	透水性ブロック舗装に用いる不織布の湿潤状態における耐久性評価	鈴木彰人 峯岸邦夫 山中光一 小野寺貴史 柳沼宏始 矢谷卓己	17年11月
(公社)地盤工学会 第14回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017)	ジオセル補強路盤の路盤厚に及ぼす地盤内応力の影響	中村碧斗 峯岸邦夫 山中光一 谷口成樹 伊藤友哉	17年11月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	関東ロームの一軸圧縮強さおよびCBRに及ぼす乱れの影響	木下太一 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	路面粗さとすべり摩擦の関係に及ぼす路面凹凸深さの影響	杉田 廉 山中光一 峯岸邦夫 紺野直樹	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	ジオセル補強地盤の支持力および地盤内鉛直応力に及ぼすジオセル高さの影響	谷口成樹 山中光一 峯岸邦夫 伊藤友哉	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	歩行者系舗装の各種性能指標の関係性に関する一考察	吉野大輝 山中光一 峯岸邦夫	18年3月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	第Ⅲ部門 補強土・新土質材料	峯岸邦夫	18年3月

道路交通研究室 (安井一彦 准教授・池田隆博 助教)

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.159-165	3周波利用によるGPS測位の高精度化に関する検証	池田隆博	17年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (28巻) pp.167-177	低仰角時における準天頂衛星のL6信号による測位補強の有効性に関する実験	佐田達典 田中勇太 池田隆博 江守 央	17年7月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (73巻5号) pp. I_1211-I_1218	単路部における押ボタン式信号機の利用実態に基づく交通制御方式の比較評価に関する研究	細島 豪人 安井一彦 稲垣 具志 池田 隆博	17年12月
(公社)土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会	GPSとQZSSの併用測位における3周波利用の効果に関する研究	池田隆博	17年9月
(一社)日本写真測量学会 平成29年度秋季学術講演会	GNSS測位の搬送波位相積算値を用いたマルチパス判別手法の有効性と課題	池田隆博	17年11月
(公社)土木学会 第45回関東支部技術研究発表会	運転免許と国別の交通事故の発生状況に関する研究	LEE SANGJO 安井一彦 池田隆博	18年3月

■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

NHK 福井 ニュースザウルス	黄色点滅信号に潜む危険	安井一彦	17年7月16日
NHK ニュース7	黄色の点滅信号	安井一彦	17年7月13日

社会的活動

2017. 4. 1～2018. 3. 31

■小早川 悟 教授

(公社)日本交通政策研究会 端末物流実態の都市間比較分析プロジェクトリーダー
(公社)日本交通政策研究会 これからの道路交通政策 委員
(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員長
(一社)交通工学研究会 第1学術小委員会 副委員長
(一社)交通工学研究会 第2学術小委員会 委員
(一社)交通工学研究会 交通工学論文賞技術賞選考委員会 委員
(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計計算ソフト小委員会 委員長
(一社)交通工学研究会 平面信号委員会 委員
(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員
(一社)交通工学研究会 千葉県国道版道路監査委員会 委員長
(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究 委員
(一社)交通工学研究会 日本型道路交通安全監査 委員
(一社)交通工学研究会 自転車通行システムの整序化 委員
(一社)日本シェアサイクル協会 顧問
(公財)国際交通安全学会 東南アジアにおける情報共有型交通安全対策スキームの実施支援 特別研究員
(公財)国際交通安全学会 インド小規模都市群における地域に根ざした計画・デザインの提言と社会実装の取り組み 特別研究員
(財)国土技術研究センター 最近の交通問題と道路サービス(新道路研究会) 委員
システムダイナミクス学会日本支部 副会長
国土交通省都市局 大規模マニュアル改訂の準備委員会 委員
警察庁 科学警察研究所 特別研究員
警察庁交通部 観光バス駐車対策分科会 会長
千葉県 大規模小売店舗立地審議会 委員
中央区 東京駅前地区駐車場地域ルール策定協議会 委員
港区 駐車場地域ルール策定協議会 会長
立川市 市政アドバイザー
立川市 立川ターミナル連絡会 座長
大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 会長

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事
(公社)日本測量協会 電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会 会長
(公社)日本測量協会 機関誌「測量」編集委員会 委員長(2017.12.31まで)
(公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長
(公社)土木学会 土木情報学委員会 副委員長
(公社)土木学会 土木情報学委員会 土木工事におけるGNSSの活用研究小委員会 副委員長
(公社)土木学会 国土・土木とAI懇談会 委員
(一社)全国土木施工管理技士会連合会企画運営委員会 委員
(一社)全国土木施工管理技士会連合会企画事業委員会 委員
(一財)日本建設情報総合センター 理事
国土交通省国土地理院 測量行政懇談会 測位基盤検討部会 部会長
国土交通省国土地理院 「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」委員会 委員長
国土交通省国土地理院 「公共測量に関する課題調査検討」委員会 委員長
国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員
国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競

争有識者委員会 委員
国土交通省関東地方整備局 第14期建設技術展示館審査委員会 委員
QBIC～QSS連携(地図分野) 準天頂衛星利活用推進会議 座長
QBIC～QSS連携(土木・建設分野) 準天頂衛星利活用推進会議 有識者
高精度衛星測位サービス利用促進協議会 アドバイザー

■下川澄雄 教授

(一社)交通工学研究会 技術顧問
(一社)交通工学研究会 査読委員
(一社)交通工学研究会 基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 委員
(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 委員
(公社)日本道路協会 第32回日本道路会議 論文・企画委員会 委員
静岡県 平成29年度静岡県社会資本重点計画推進会議 委員
静岡県 社会資本利活用会議 委員
静岡県 ランドアバウト検討委員会 委員
静岡県 浜名湖観光圏インフラネットワークワーキング 委員
静岡県、浜松市、湖西市 浜名湖地域振興・減災協議会 会長
千葉県 舗装維持管理計画検討委員会 委員長
浜松市 浜松市のみちづくり計画策定委員会 委員長
浜松市 立地適正化計画検討会 委員
浜名湖地域舟運都市構想研究会 委員
NPO 法人まちづくりサポータ FUJI 理事

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 委員
(一社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員
(一社)交通工学研究会 出版委員会 副委員長
(一社)交通工学研究会 新規出版企画小委員会 委員長
(独)環境再生保全機構 局地汚染地域における重点対策地区設定手法に関する調査研究検討会 委員
国土交通省 交通政策審議会航空分科会 臨時委員
国土交通省航空局 総合評価委員会 委員
国土交通省航空局 国の安全指標等の見直しに関する検討会 委員
国土交通省東京航空局 総合評価委員会 委員
国土交通省関東運輸局 地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会 委員
千葉県 国土利用計画地方審議会 委員
千葉県 県土整備公共事業評価審議会 委員
千葉県 入札監視委員会 委員
千葉県 建設工事総合評価 委員
千葉県 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する検証小委員会会 委員長
葛飾区 公共交通網構築に関する調査検討委員会 委員(座長)
葛飾区 入札監視等委員会 委員
青梅市 公共交通活性化協議会 委員(議長)
千葉市 新基本計画審議会 委員
千葉市 新基本計画審議会政策評価部会 委員長
千葉市 千葉市産業用地整備支援事業審査会 委員
鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員
松戸市 建設工事総合評価委員
船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員

佐倉市 地域公共交通活性化協議会 委員
佐倉市 立地適正化計画作成懇話会 委員(副会長)
山武市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)
木更津市 地域公共交通活性化協議会 委員(会長)
木更津市 金田地区都市再生整備計画事業事後評価委員会 委員
大網白里町 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)
大網白里市 大網駅周辺整備検討委員会 委員
八街市 地域公共交通協議会 委員(副会長)
旭市 地域公共交通協議会 委員
栄町 公共交通会議 委員

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 国際センター プロジェクトグループ インフラ国際貢献・国際協力アーカイブスWG 代表
(一社)交通工学研究会 理事
(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 理事
(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 認定・事業委員会 委員
(一社)日本私立大学連盟 FD推進ワークショップ運営委員会 委員
(一社)海外運輸協力協会 アドバイザー
(公財)国際交通安全学会 「人」委員会 委員
(独法)国際協力機構 タイ国バンコク-チェンマイ高速鉄道整備事業準備調査にかかる国内支援委員会 委員
(独法)国際協力機構 ベトナム国国としての適切な緩和行動(NAMA)計画及び策定支援プロジェクト(気候変動緩和策に関する技術評価)【有償勘定技術支援】国内支援委員会 委員
(独法)国際協力機構 バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定(M-MAP2)に係る情報収集・確認調査 アドバイザー
(独法)国際協力機構 調査名：移動弱者ゼロの未来型都市におけるパーソナルモビリティ (PM)案件化調査【中小企業海外展開支援事業～案件化調査～】 アドバイザー
(独法)国際協力機構、政策研究大学院大学 東南アジア 行政組織開発にかかる情報収集・確認調査 日本の開発経験調査 大都市社会資本分科会 委員

EASTS-Japan 理事
システムダイナミクス学会日本支部 会長
System Dynamics Society, Asia-Pacific Policy Council, Member
日本環境共生学会 理事・関東支部長
Asia Transportation Research Society, Honorable Advisor
Economic Research Institute for ASEAN and East Asia Working Group on ERIA Research Project FY2016, “Addressing Energy Efficiency through Traffic Improvement”, Member
国土交通省 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省 タイ交通安全対策検討委員会 副委員長
千葉市 都市計画審議会 委員
千葉市 高度地区アドバイザー
千葉市 公共事業再評価部会 委員
千葉市 新基本計画審議会 委員
八千代市 都市計画審議会 委員

■藤井敬宏 教授

国土交通省関東運輸局 千葉県バリアフリーネットワーク会議 座長
国土交通省中部運輸局 地域交通マネージャー
千葉県 成田空港周辺における公共交通のあり方検討調査有識者会議 座長
静岡県 岳南都市圏総合都市交通計画協議会 副会長
港区 バリアフリー推進協議会 会長

品川区 旗の台周辺地区バリアフリー計画策定協議会 会長
品川区 長期基本計画作業部会(都市像) 学識アドバイザー
武蔵村山市 地域公共交通会議 会長
伊勢原市 地域公共交通会議 会長
我孫子市 都市計画審議会 会長
我孫子市 地域公共交通協議会 委員
市川市 都市計画審議会 副会長
市川市 総合計画審議会 会長
市川市 公共交通協議会 会長
市川市 公共交通調査 専門委員
市原市 地域公共交通会議 座長
市原市 都市再生協議会 委員
市原市 バリアフリー推進協議会 会長
市原市 公共交通の地域協議会 アドバイザー
市原市 総合評価方式による入札評価 委員
市原市 福祉有償運送運営協議会 委員
柏市 立地適正化計画策定検討会議 副会長
柏市 地域公共交通活性化協議会 会長
君津市 地域公共交通会議 アドバイザー委員
東金市 総合交通計画策定協議会 委員
流山市 高齢社会対応既存交通補完研究事業勉強会 アドバイザー

習志野市 福祉有償運送運営協議会 会長
船橋市 都市計画審議会 委員
船橋市 地球温暖化協議会 会長
船橋市 地球環境審議会 委員
富津市 地域公共交通会議 委員
茂原市 地域公共交通会議 委員
八千代市 公共交通会議 委員
伊豆の国市 地域公共交通会議 委員
下田市 地域公共交通会議 委員
下田市 地域公共交通戦略分科会 委員
裾野市 都市計画審議会 会長
裾野市 総合計画等評価委員会 委員
裾野市 地域公共交通活性化協議会 委員
富士宮市 都市計画審議会 会長
富士宮市 地域公共交通会議 委員
三島市 地域公共交通網形成協議会 委員
龍ヶ崎市 佐貫駅東口駅前広場機能性向上検討会議 座長

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 幹事
(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 幹事長・委員長
(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 幹事・幹事長
(公社)土木学会 技術功労賞選考委員会 副委員長
(公社)地盤工学会 関東支部 幹事長
(公社)地盤工学会 関東支部 表彰委員会 委員
(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会 委員
(公社)地盤工学会 ジオシンセティックス工学委員会
(一財)日本技術者教育認定機構 基準委員会 委員
(一財)日本技術者教育認定機構 基準総合調整委員会 委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事
国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長
国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会委員
委員
国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分
科会 委員
国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 総合
評価審査分科会 委員
船橋市 一般競争入札【総合評価型】 学識経験者
御宿町 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 学識経験者

■石坂哲宏 准教授

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員
(一社)交通工学研究会 学術委員会 委員
(公社)土木学会 土木学会誌編集委員会 委員
(公社)土木学会 土木計画学委員会学術小委員会 委員
(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事
システムダイナミクス学会日本支部 理事
Eastern Asia Society for Transportation Studies, International
Scientific Committee, Committee Member

■安井一彦 准教授

(一社)交通工学研究会 交通学研究発表会 査読委員
(一社)交通工学研究会 首都高速道路交通安全対策検討会 委
員
千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員
千葉県 国道464号千葉 NT 地区交通対策検討会議 議長
千葉県 環境審議会 委員

■池田隆博 助教

(公社)土木学会 土木情報学委員会 土木工事における GNSS
の活用研究小委員会 委員

■稲垣具志 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 学術小委員会 委員
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 移動権の考え方に基
づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 子育てしやすく子ど
もにやさしいまちづくり研究小委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小委
員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 ITS とインフラ・地
域・まちづくり小委員会 委員
(公社)日本都市計画学会 総務・企画委員会 委員
(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト これから
の道路交通政策—幹線道路の道路・交通管理から考える—
委員
(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 端末物流
実態の都市間比較分析 委員
(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員
(一社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改訂小委員会
委員
(一社)交通工学研究会 高齢者交通事故の原因とその交通安全
施策に係る研究 委員
(一社)交通工学研究会 自転車通行システムの整序化研究グ
ループ 委員
(一社)交通工学研究会 生活道路に関する検討小委員会 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 代議員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 総務委員会 委員長
(一社)日本福祉のまちづくり学会 会誌委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 関東支部 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会
委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 住民参画・社会環境特別研

究委員会 幹事
(一社)日本交通科学学会 評議員
(一社)日本交通科学学会 交通科学文献調査委員会 幹事
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた
アクセシビリティ協議会 学識経験者
(福)日本盲人会連合 視覚障害者の外出保障を考える懇談会
委員
国土交通省総合政策局 移動等円滑化のために必要な旅客施設
又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会 委
員

国土交通省総合政策局 バリアフリー整備ガイドライン改訂検
討委員会(旅客施設編) 委員
国土交通省総合政策局 バリアフリー整備ガイドラインワーキ
ング(旅客施設編)視覚障害者等向け設備ワーキング 委員
国土交通省総合政策局 公共交通機関等における障害者等への
対応に係る職員教育の充実に関する調査研究・交通事業者
向け接遇ガイドライン作成等のための検討委員会 委員
国土交通省航空局 みんなが使いやすい空港旅客施設計画資料
改定に関する検討委員会 委員
観光庁 ユニバーサルツーリズム促進検討委員会 委員
観光庁 ユニバーサルツーリズム促進検討委員会 接遇マニュ
アル作成に係る旅行業分科会・観光地域分科会 会長
東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員
東京都 福祉のまちづくり推進協議会専門部会 委員
東京都 自転車安全利用指導員業務委託技術審査委員会 特別
委員

埼玉県教育委員会 高校生の自動二輪車等の交通安全に関する
検討委員会 会長

埼玉県高齢運転者交通事故防止対策検討会議 有識者
千代田区 地域福祉交通「風ぐるま」運行協議会 委員
世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会 委員
世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会第3部会(道
路、公園、公共交通関連) 部長
世田谷区 自転車等駐車対策協議会 委員
世田谷区 区立自転車等駐車場指定管理者選定委員会 委員
武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員
武蔵野市 バリアフリー基本構想評価委員会 副会長
武蔵野市 バリアフリーネットワーク会議 会長
立川市 市政アドバイザー
立川市 ターミナル連絡会 委員
西東京市 地域公共交通会議 副会長
鎌倉市 交通計画検討委員会 委員
鎌倉市 交通計画検討委員会専門部会 委員
埼玉県南部地区福祉有償運送3市共同運営協議会 会長
二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー
二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員
二子玉川通り名検討委員会 委員長
成田国際空港(株) 成田空港ユニバーサルデザイン推進委員会
基本計画策定分科会 委員

■江守 央 助教

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェ
クト検討小委員会 委員長
(公社)土木学会 移動権に基づく移動環境の整備・評価に関す
る研究小委員会 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 文化財・世界遺産のアクセ
シビリティ特別研究委員会研究委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 副事務局長
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
アクセシブルルートの検討に係る当事者団体とアクセシビ

リティ協議会事務局による意見交換会 委員
(一財)みなと総合研究財団 委員
渋谷区 バリアフリー推進協議会 区民部会 部長
渋谷区 バリアフリー推進協議会 副会長
大田区 移動円滑化推進協議会 副委員長
国分寺市 国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり協
議会 副会長
三鷹市 バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長
鎌ヶ谷市 福祉有償運送運営協議会 会長
八千代市 福祉有償運送運営協議会 会長

■齊藤準平 助教

(公社)土木学会 コミュニケーション部門 土木広報連絡会
関東支部委員
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査
(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事
(公社)土木学会 総務部会 技術功労賞選考委員会 幹事

■山中光一 助教

(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 委員
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 幹事
(公社)土木学会 関東支部 学術研究部会 幹事
(公社)土木学会 国際部門 国際センター 情報グループ 情
報グループ幹事会 委員
(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内
委員会 委員

学外学術活動

2017. 4. 1～2018. 3. 31

■小早川 悟 教授

講演：Workshop on Penang Road Safety “Support to Installation
of a Scheme of Road Traffic Safety Based on Sharing
Information in Malaysia”／International Assoiation of Traffic
Safety Science (IATSS)／Penang Education Department
2017.6.22

講演：10th ATRANS Symposium on Transportation for a Better
Life: Safe and Smart Cities, Session 2A: Transport Safety
“Road Accidents and Awareness raising through Public
Participatory Approach in Japan”／Asia Transportation
Research Society／Radisson Blu Plaza Hotel, Bangkok,
Thailand 2017.8.17

講演：10th ATRANS Symposium on Transportation for a Better
Life: Safe and Smart Cities, Session 3B:Logistics & Disaster
Management “How to Distribute Relief Goods at the Large
Scale Earthquake –Learning from Japan Earthquake in
2011 and 2016–”／Asia Transportation Research Society
(ATRANS)／Radisson Blu Plaza Hotel, Bangkok, Thailand
2017.8.17

講演：Workshop on Community-based Road Safety at Suphanburi
Province “Community-Based Road Safety Activities:
Introduction of Kamagaya Model”／International Assoiation
of Traffic Safety Science (IATSS), Asia Transportation
Research Society (ATRANS)／Tah-Radhad District Meeting
Hall, Supanburi, Thailand 2017.8.19

パネリスト：BICYCLE CITY EXPO 2017「自転車と健康」／
BICYCLE CITY EXPO 2017実行委員会(株)ライジング出版・
住友不動産ベルサール(株)／ベルサール高田馬場 2017.9.9

パネリスト／BICYCLE CITY EXPO 2017「自転車活用推進法
と自転車のまちづくり」／BICYCLE CITY EXPO 2017実行
委員会(株)ライジング出版・住友不動産ベルサール(株)／ベ
ルサール高田馬場 2017.9.9

講演：都市における自転車利用とまちづくりセミナー「都市交

(公社)地盤工学会 地盤工学会誌編集委員会 委員
(公社)地盤工学会 関東支部 支部発表会グループ 県連絡委
員
(公社)地盤工学会 関東支部 会員サービスグループ 幹事
(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事
ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技
術情報誌 編集委員会 委員
NPO 法人舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 小型
FWD 検証分科会 委員
NPO 法人舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 委員
NPO 法人舗装診断研究会 舗装構造評価委員会 委員

■兵頭 知 助手

ISTS&IWTDCS, International Symposium of Transport
Simulation & International Workshop on Traffic Data
Collection and its Standardization 2018 (ISTS&IWTDCS
2018), Local Organising Committee
(一社)交通工学研究会 自主研究「交通事故リスクマネジメン
トに関する研究」 委員

■吉岡慶祐 助手

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員
会 委員兼幹事
(一社)交通工学研究会 資格委員会 委員
(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計 計算ソフト検
討作業部会 委員

通システムとしての自転車交通」／(公財)自転車駐車場整備
センター、(公財)都市計画協会／ルポール麴町 2017.11.6

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」“Parking
Managemant”／国際協力機構／JICA 東京 2017.11.27

講演：平成29年度埼玉地域技術講演会、「自転車を活用したま
ちづくり」／(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部埼玉地
域委員会／さいたま共済会館 2017.11.30

講演：Joint Workshop on Community-based Road Safety at Khon
Kaen Province “Community-Based Road Safety Activities:
Introduction of Kamagaya Model”／International Assoiation
of Traffic Safety Science (IATSS), Asia Transportation
Research Society (ATRANS)／Khon Kaen District of DOH
2018.2.24

パネリスト：平成29年度第3回意見交換会「交通実態調査の結
果報告」／習志野台8丁目生活道路安全対策協議会／習志野
台8丁目会館 2018.3.3

■佐田達典 教授

開会挨拶：応用測量研究発表会／(公社)日本測量協会／全水道
会館 2017.7.25

特別講演：Leica Geosystems LIVE Japan 2017／衛星測位の現状
と今後の展望／ライカ ジオシステムズ(株)／東京・品川イン
ターシティホール 2017.7.28

パネラー：第28回測量経営者研修会／「測量業のビジョン」—夢
のある測量業と測量士の未来像について—／(公社)日本測
量協会関東支部／測量年金会館 2017.9.7

座長：第71回土木学会年次学術講演会／共通セッション「土木
分野におけるセンサ利用の可能性」／(公社)土木学会／九州
大学 2017.9.13

座長：GPS/GNSS シンポジウム2017研究発表会／研究発表セッ
ションⅡ「測位技術／測位航法学会」／(一社)測位航法学会
／東京海洋大学 2017.11.9

■下川澄雄 教授

オーガナイザー：第55回土木計画学研究発表会(春大会)／企画セッション「道路の階層区分を考慮した交通性能照査手法の提案」／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／愛媛大学 2017.6.11

講師：平成29年度道路設計演習「道路の計画設計の現状と今後の展望」／(一財)全国建設研修センター／全国建設研修センター 2017.7.18

講演：ラウンドアバウトサミット in 安曇野／ラウンドアバウト普及促進協議会／豊科公民館ホール 2017.7.27

ファシリテーター：ミニシンポジウム「階層型道路ネットワークの実現に向けて」／(一社)交通工学研究会／沖縄県立博物館美術館講堂 2017.10.5

講演：ラウンドアバウトタウンミーティング in 沖縄／(一社)交通工学研究会／沖縄県立博物館美術館講堂 2017.10.6

ファシリテーター：ラウンドアバウトマニュアル講習会／(一社)交通工学研究会／福島市こむこむ館 2017.12.11

講演：2018年日本大学静岡県工科会総会／記念講演「ラウンドアバウトの機能と価値」／2018年日本大学静岡県工科会／遠鉄ホール 2018.1.20

座長：土木学会関東支部第45回技術研究発表会「道路ネットワーク・交通行動分析」／(公社)土木学会関東支部／山梨大学 2018.3.8

■轟 朝幸 教授

講師：未来の空港・航空システム研究会「地方空港の今日までの検証とこれからの展望」／(一財)みなと総合研究財団／千代田区 2017.12.20

講師：2017 航空・空港シンポジウム「訪日外国人4000万人時代に向けた航空情勢とセントレアの展望」／中部圏社会経済研究所／名古屋市 2018.1.12

講師：まちづくり講演会「パーソナルモビリティを活用したまちづくり」／埼玉県南4市まちづくり協議会／川口市 2018.1.17

■福田 敦 教授

講演：“History of Transportation Development in Japan and Lessons Learned”, The Workshop Meeting on ERIA Research Project FY2016, “Addressing Energy Efficiency through Traffic Improvement”／東アジア・ASEAN 経済研究センター／Hilton Hanoi Opera, Hanoi Vietnam 2017.5.17

講義：“The Methodology about Wider Economics Calculation and Experience from development the rural plan which related to High Speed Rail Project (Bangkok- Chaing Mai)”, The Workshop on How to Develop the Area and the Economic Corridor along the High Speed Railway Route (Bangkok - Chain Mai) with the Method Wider Economic Calculation／JICA, タイ運輸省／The 5th Building, National Economics and Social Development Board 2017.6.12

モデレーター：平成29年度 FD 推進ワークショップ(専任教職員向け)／(一社)日本私立大学連盟／TKP 東京カンファレンスセンター 2017.6.17

講義：JICA 研修「都市公共交通」(A) “Sustainable Urban Transportation System in Asia Mega City (アジア大都市の持続可能な都市交通システム)”／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2017.7.6

モデレーター：2nd Workshop for Data Collection Survey on the Development of the 2nd Blueprint for Mass Rapid Transit Master Plan(M-MAP2)／JICA, タイ運輸省／Office of Transportation and Traffic policy and Planning, MOT 2017.7.7

報告：平成29年度 IBS フェローシップ発表会「バンコクの軌道系公共交通機関沿線における土地開発の実態」／(一財)計量計画研究所／スクワール麹町 2017.7.21

講義：“Area Development with Railway –Experiences in Japan–”

on TOT (Training of Trainers) on Monitoring and Evaluation／インドネシア政府の国家開発企画庁 (BAPPENAS)、インドネシア・ガジャマダ大学都市・地域計画専攻(後半は提携先：拓殖大学)／日本大学理工学部船橋キャンパス 2017.8.2

モデレーター：平成29年度 FD 推進ワークショップ(新任専任教員向け)／(一社)日本私立大学連盟／グランドホテル浜松 2017.8.3-4

講演：“Walkable Environment for Smart Mobility and Transit Oriented Development- TOD”, Session: 3A Smart Mobility (Transport infrastructure and Transit Oriented Development-TOD), 10th ATRANS Annual conference on “Transportation for a Better Life: Mobility and Road Safety Managements”／Asia Transportation Research Society／Radisson Blu Plaza Hotel, Bangkok, Thailand 2017.8.19

司会：Parallel Session: 2A Transport Safety, 10th ATRANS Annual conference on “Transportation for a Better Life: Mobility and Road Safety Managements”／Asia Transportation Research Society／Radisson Blu Plaza Hotel, Bangkok, Thailand 2017.8.19

招待講演：“Future Direction and Technological Issues of Transportation System”, Joint 6th Pacific Asia Conference on Mechanical Engineering & 6th International Conference on Civil Engineering／Technical University of the Philippines／Century Park Hotel, Metro Manila, the Philippines 2017.8.29

講師：JICA 国別研修ニカラグア「交通需要分析」／JICA／日本大学理工学部船橋キャンパス 2017.9.2-13

講義：JICA 研修「都市公共交通」(B) “Sustainable Urban Transportation System in Asia Mega City (アジア大都市の持続可能な都市交通システム)”／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2017.10.20

パネラー：Special Session: “Challenges of Climate Change Mitigation and Adaptation in Cities of Developing Countries”／CODATU／Hyderabad International Convention Centre 2017.11.6

講演：国土交通省によるタイ運輸省における交通安全対策会議「ミクロ交通シミュレーションを使った交通事故多発地点における改善策の評価」／JICA、タイ運輸省／タイ運輸省 2017.11.13

講演 (Skype)：サイエンスカフェ「自動運転と将来の交通システム」／日本大学理工学部図書館／日本大学理工学部船橋キャンパス図書館 2017.11.13

講義：平成29年度 JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース「JICA ストラータを用いた交通需要推計」／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2017.11.14

講演：“HSR and Area development”, Thailand-Japan Railway Partnership for Connectivity Success –Sharing Advanced SHINKANSEN Technologies & Area Development-／Economic Research Institute for ASEAN and East Asia／IEEJ Conference Room 2017.11.17

モデレーター：Symposium on Traffic Monitoring by Mobile Sensing Technology／Panel Discussion: Technical Aspects of Mobile Sensing and Other Traffic Data Collection and Analysis／(一社)交通工学研究会、チュラロンコン大学／Novotel Bangkok 2017.11.23

講義：平成29年度 JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース「都市交通計画の立案と実例(千葉都市モノレール計画)」／(独法)国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2017.12.1

講演：“Fully integrated law enforcement system in Japan”, the 13th Road Safety Seminar “Invest for Sustainable Safety”／Road Safety Group Thailand, Road Safety Policy Foundation／Bitec, Bangkok 2017.12.7

■藤井敬宏 教授

講演：『交通と環境』～道路を取り巻く環境問題～／さいたま市土木技術職員上級研修会／さいたま市会議室 2017.6.9

講師：海難事故で漂流、君は誰を助けるか?／千葉日本大学第一中学校／千葉日本大学第一中学校理科実験室 2017.7.14

講演：地域公共交通確保へのアプローチ／流山市交通計画推進室 高齢社会対応既存交通補完研究事業勉強会／流山市松ヶ丘自治会館会議室 2017.7.28

講演：立地適正化計画並びに公共交通網計画について／裾野市部課長会議／裾野市役所会議室 2017.8.8

基調講演：バリアフリーマップの作成・運用状況からみた観光行動支援について—東京都区部を例として—／国土交通省千葉運輸支局千葉県バリアフリーネットワーク会議／市原市サンプラザ市原研修室 2017.12.1

講演：学校統合に向けたスクールバスの運用について／君津市教育委員会／君津市小糸公民館 2018.2.20

■安井一彦 准教授

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／銀座プロッサム大ホール 2017.5.30

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／中野 ZERO 小ホール 2017.6.6

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／たましん RISURU ホール 2017.6.8

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／北区赤羽会館ホール 2017.6.13

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／曳舟文化センターホール 2017.6.15

講師：地域交通安全活動推進委員講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／中野 ZERO 小ホール 2018.3.14

講師：交通安全監視者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／八丈島保健福祉センター 2017.5.18

講師：定例記念講演「交通事故抑止のために」／東京都ハイヤー・タクシー交通共済組合／ホテルエドモンド 2017.10.20

講師：交通安全監視者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／小笠原父島警察署会議室 2017.11.11

■石坂哲宏 准教授

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画コース」／国際協力機構／JICA 東京 2017.11.14-16

座長：CODATU 2017 CONFERENCE／WCTRS SIG H5セッション「Challenges of Climate Change mitigation and adaptation in cities of developing countries」／CODATU／ハイデラバード(インド) 2017.11.6

講演：CODATU 2017 CONFERENCE／Citizen’s Acceptability of Low-Carbon Society in the Middle Sized Cities in Asia／CODATU／ハイデラバード(インド) 2017.11.6

講演：The symposium of Traffic Monitoring by Mobile Sensing Technology／Bluetooth Data Analysis: Estimating Missing Path on Trajectories Trip／(一社)交通工学研究会、チュラロンコン大学／バンコク(タイ) 2017.11.23

■稲垣具志 助教

講師：平成29年度 PTA 交通安全教室事業委託説明会「子どもの道路横断能力とは?～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区／経堂地区会館 2017.4.26

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対

策本部／新宿 NS ビル 2017.5.24

講師：警視庁第八方面交通少年団役員研修会「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／警視庁／国分寺 L ホール 2017.6.6

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2017.6.21

講演：坪井工業株安全大会「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／坪井工業株／銀座フェニックスプラザ 2017.7.3

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／立川市女性総合センターアーム 2017.8.25

パネルディスカッション・モデレーター：第5回 BIKE LOVE FORUM「高校生等に対する交通安全教育の推進」／日本自動車工業会、全国オートバイ協同組合連合会、経済産業省ほか／前橋テルサ 2017.9.16

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2017.9.25

講師：副安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／江東区文化センター 2017.10.3

講師：関東・甲信越ブロック交通ボランティア等ブロック講習会「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／内閣府／宇都宮ホテルニューイタヤ 2017.10.5

講師：池之上小学校交通安全教室「リズムで学ぶ横断判断」／世田谷区立池之上小学校校外委員会／世田谷区立池之上小学校 2017.10.6

講師：副安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／西新井文化ホール 2017.10.12

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2017.10.20

パネルディスカッション・パネラー：交通安全フォーラム「高齢社会の交通安全を考える～事故にあわない、おこさない～」／内閣府／船橋市民文化ホール 2017.10.25

講師：埼玉県自転車安全利用指導員研修会「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／埼玉県県民生活部／埼玉会館 2017.10.26

講演：世田谷区立小学校 PTA 連合協議会、玉川警察署管内地域環境連絡協議会「子どもの道路横断能力とは?～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区立小学校 PTA 連合協議会／世田谷区立中野小学校 2017.11.17

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／立川市女性総合センターアーム 2017.11.22

講演：千葉県交通安全対策推進委員会自転車安全利用部会「自転車の利用者特性を踏まえた安全利用推進の視点」／千葉県環境生活部／千葉県教育会館 2018.1.29

講師：副安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2018.2.1

講師：千葉県交通安全母の会連合会指導者講習会「子どもの道路横断能力とは?～安全対策・教育の新たな視点～」／千葉県交通安全母の会連合会／Qiball 2018.2.19

基調講演：玉川ゾーン30 4周年記念式典「ゾーン30に住む家庭と地域の役割～「積極的な」交通安全教育とは～」／二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／世田谷区立二子玉川小学校 2018.2.24

パネリスト：玉川ゾーン30 4周年記念式典「住民主体の交通安全活動」／二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／世田谷区立二子玉川小学校 2018.2.24

基調講演：点字ブロック記念講演会「我が国発祥「点字プロッ

ク」の意義と役割～これまでの発展・これからの課題～」／(公社)静岡県視覚障害者協会、静岡県視覚障害バリアフリー推進協議会／静岡労政会館 2018.3.18

■江守 央 助教

講師：空港のユニバーサルデザインへの取り組みと課題について検討／(一財)日本経済団体連合会／大手町・経団連会館 2017.11.15

■山中光一 助教

座長：第14回地盤工学研究発表会 (GeoKanto2017)、材料4／(公社)地盤工学会関東支部／栃木県総合文化センター 2017.1.17

座長：第45回土木学会関東支部技術研究発表会／第Ⅲ部門「施工・管理・調査・計測(1)」／(公社)土木学会関東支部／山梨大学甲府キャンパス 2018.3.7

■池田隆博 助教

座長：平成29年度日本写真測量学会秋季学術講演会／(一社)日本写真測量学会／宇部市文化会館 2017.11.9

■兵頭 知 助手

座長：第56回土木計画学研究発表会(秋大会)／交通安全(1)／(公社)土木学会／岩手大学上田キャンパス 2017.11.3-5

■マーライタム サティター 助手

講師：JICA 国別研修ニカラグア「交通需要分析」／JICA／日本大学理工学部船橋キャンパス 2017.9.2-13

講義：平成29年度 JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース「JICA ストラータを用いた交通需要推計」／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2017.11.14-16

海外出張

2017. 4. 1～2018. 3. 31

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
小早川 悟 教授	2017年6月21日～23日／ベナン州における交通事故ヒヤリデータ収集のための Road Safety キャンペーン参加／マレーシア (ベナン) 2017年7月17日～21日／10th ATRANS Annual conference およびスパンブリ市における交通事故対策ワークショップ参加／タイ (バンコク、スパンブリ) 2017年8月28日～9月1日／6th INTERNATIONAL CONFERENCE ON CIVIL ENGINEERING (ICCE) 参加／フィリピン (マニラ) 2018年2月22日～26日／コンケン市における交通事故対策ワークショップ参加／タイ (コンケン) 2018年3月11日～15日／パティアナにおける交通事故対策ワークショップ参加／インド (パティアナ)
轟 朝幸 教授	2017年8月20日～24日／バードストライク対策に関する調査／デルフトほか(オランダ)、コペンハーゲン(デンマーク) 2018年3月2日～7日／水上飛行機運航に関する調査／マーレほか (モルディブ)
福田 敦 教授	2017年5月2日～7日／スパンブリ市における交通安全対策打ち合わせ、その他／バンコク、スパンブリ(タイ) 2017年5月16日～18日／東アジア・ASEAN 経済研究センター (ERIA) 研究プロジェクトのワークショップミーティングでの講演／ハノイ (ベトナム) 2017年6月10日～14日／JICA 主催タイ、バンコク-チェンマイ間高速鉄道整備に関わる沿線開発WSでの講演および会議参加／バンコク (タイ) 2017年6月18日～21日／国土交通省によるタイ運輸省における交通安全対策会議／バンコク (タイ) 2017年7月7日～9日／JICA 主催 M-MAP2 (バンコク大量輸送・鉄道計画のマスタープランの改訂案) に関わる協議／バンコク (タイ) 2017年7月21日～23日／メトロマニラ都市内鉄道駅周辺の歩行環境調査／マニラ (フィリピン) 2016年8月8日～27日／1) MRTブルーライン・パンスータオープン間開業式参列 (タイ)、2) ATRANS (アジア交通研究学会) シンポジウム参加 (タイ)、3) IATSS 研究プロジェクト1702Bによるスパンブリ市における交通安全WS開催、アユタヤ市・ノンタブリ地区視察 (タイ)、4) SATREPS (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) の SATREPS 合同調整委員会 (JCC) 会議の開催 (インド)／ハイデラバード、アーメダバード (インド) バンコク、サムイ島、コンケン (タイ)、ピエンチャン (ラオス) 2017年8月27日～31日／フィリピン工科大学日大理工学部共催第6回土木工学国際会議／バンコク (タイ) 2017年9月4日～10日／1) セミナール及び交通まちづくり工房国際班のチェンマイ市でのワークショップ開催、2) ATRANS 政策会議、3) JICA 主催タイ、バンコク-チェンマイ間高速鉄道整備実施可能性調査に関するタイ運輸省との会議／チェンマイ、バンコク (タイ) 2017年9月10日～13日／バンコクにおけるブルトゥースによる旅行時間計測に関するチュラロンコン大学との打ち合わせ／バンコク (タイ) 2017年9月17日～19日／第12回アジア交通学会国際会議参加・発表／ホーチミン (ベトナム) 2017年10月11日～13日／JICA 主催タイ、バンコク-チェンマイ間高速鉄道整備に関わる沿線開発に関するタイ運輸省との会議／バンコク (タイ)

2017年11月2日～7日／1) UMI-CODATU XVII (第17回CODATU国際会議)に参加、2) SATREPS (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) の SATREPS 合同会議の開催／ハイデラバード (インド)

2017年11月11日～14日／国土交通省によるタイ運輸省における交通安全対策会議／バンコク (タイ)

2017年11月15日～19日／JICA 主催タイ、バンコク-チェンマイ間高速鉄道整備に関わる沿線開発に関するセミナーでの講演／バンコク (タイ)

2017年11月22日～27日／交通工学研究会、チュラロンコン大学主催 Symposium on Traffic Monitoring by Mobile Sensing Technology 開催／バンコク (タイ)

2017年12月6日～8日／Road Safety Group Thailand, Road Safety Policy Foundation 主催第13回タイ国交通安全セミナーでの講演／バンコク (タイ)

2017年12月14日～17日／ATRANS(アジア交通研究学会)第20回 Board Meeting(役員会議)／ブーケット(タイ)

2017年12月17日～19日／JICA 主催タイ国バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン (M-Map2) に係る打ち合わせ及びワークショップ参加／バンコク (タイ)

2018年1月19日～21日／タイ運輸省道路局、スパンブリー県警主催スパンブリー県における交通安全ワークショップでの講演／スパンブリー (タイ)

2018年2月22日～25日／IATSS 研究プロジェクト1702Bによるコンケン市における交通安全WS開催、ノンタブリ地区視察／コンケン、バンコク (タイ)

2018年3月11日～19日／1) IATSS 国際連携プロジェクト1740によるティアラにおける交通対策ワークショップ開催、2) JICA 移動弱者ゼロの未来型都市におけるパーソナルモビリティ (PM) 案件化調査に関わる打ち合わせ／パティアラ (インド)、バンコク (タイ)

石坂哲宏 准教授 2017年8月20日～26日／SATREPS “M2SMART” 研究打ち合わせ及び現地調査／アーメダバード、ハイデラバード (インド)

2017年9月4日～10日／ブルトゥースによる交通状態推定のための実験実施／バンコク、チェンマイ(タイ)

2017年9月10日～13日／チュラロンコン大学ソラウィット教授との研究打ち合わせ／バンコク (タイ)

2017年9月15日～19日／タイにおける自動車走行実験／バンコク (タイ)

2017年11月3日～7日／UMI-CODATU XVIIに参加／ハイデラバード (インド)

2017年11月22日～25日／研究シンポジウムの開催及び研究打ち合わせ／バンコク (タイ)

2018年3月11日～13日／タイにおける近距離無線通信による車両モニタリングに関する打ち合わせ／バンコク (タイ)

2018年3月18日～22日／SATREPS “M2SMART” に関する現地調査／アーメダバード、ハイデラバード (インド)

安井一彦 准教授 2017年8月11日～15日／交通保安施設に関する調査研究／瀋陽 (中国)

2018年1月28日～30日／交通管理システムに関する実態調査／ソウル (韓国)

池田隆博 助教 2017年8月20日～26日／SATREPS “M2SMART” 研究打ち合わせ／アーメダバード、ハイデラバード(インド)

山中光一 助教 2017年8月28日～30日／6th ICCEでの研究発表／マニラ (フィリピン)

マーライタム サティター 助手 2017年7月20日～24日／1) フィリピン社会交通理工学会に参加、2) メトロマニラ都市内鉄道駅周辺の歩行環境調査／マニラ (フィリピン)

2017年9月4日～14日／1) セミナール及び交通まちづくり工房国際班のチェンマイ市でのワークショップ開催、2) バンコク都市内鉄道駅周辺の夜間歩行環境調査／チェンマイ、バンコク (タイ)

2017年9月16日～23日／第12回アジア交通学会国際会議参加・発表／ホーチミン (ベトナム)

2017年11月21日～30日／1) 交通工学研究会、チュラロンコン大学主催 Symposium on Traffic Monitoring by Mobile Sensing Technology 開催、2) 沿線開発に関する基礎調査／バンコク (タイ)

2018年2月22日～25日／IATSS 研究プロジェクト1702Bによるコンケン市における交通安全WS開催、ノンタブリ地区視察／コンケン、バンコク (タイ)

吉岡慶祐 助手 2017年5月7日～12日／5th International Conference on Roundabouts／グリーンベイ (アメリカ)

2017年8月29日～31日／6th INTERNATIONAL CONFERENCE ON CIVIL ENGINEERING／マニラ (フィリピン)

2017年9月18日～23日／13th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies／ホーチミン (ベトナム)

外部研究資金の受入状況

2017. 4. 1～2018. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）	教員名
研究課題	
（株）トヨタIT開発センター（2017.11.29～2018.3.15） アジア各国の事故データハーモナイズ	小早川 悟（代表）、高田邦道
浜名湖水際都市創造研究会（2017.11.2～2018.3.31） 浜名湖地域における水辺のまちづくりに関する研究	下川澄雄
（一財）国土技術研究センター（2017.12.7～2018.2.28） 道路の構造と交通サービスに関する状況分析	下川澄雄
科学研究費補助金 基盤研究（B）（2016.4.1～2019.3.31） 安心安全運航のための水上飛行機離発着場整備に関する研究	轟 朝幸（代表）、江守 央、兵頭 知 ほか
成田国際空港（株）（2017.7.1～2018.3.31） バードストライク実態等分析・検討（平成28）	轟 朝幸（代表）、兵頭 知
みなと総合研究所（2017.11.17～2018.3.31） 水上飛行機による地域振興への活用に関する研究	轟 朝幸（代表）
（独法）国際協力機構（2016.11.1～2017.12.31） タイ側における地域計画連携	福田 敦（代表）
（一社）交通工学研究会（2017.6.1～2018.2.28） 交通管制のための交通状況と交通需要の推定技術	福田 敦（代表）、石坂哲宏
国立研究開発法人 科学技術振興機構（2017.5.1～2019.3.31） マルチモーダル地域交通状況のセンシング、ネットワークとビッグデータ解析に基づくエネルギー低炭素社会実現を目指した新興国におけるスマートシティの構築	福田 敦（代表）、小早川 悟、石坂哲宏、安井一彦、池田隆博、吉岡慶祐
住友電気システムソリューション（株）（2017.7.1～2018.3.31） 非公開	安井一彦（代表）
東京航空計器（株）（2017.6.1～2018.3.25） 非公開	安井一彦（代表）
カラーコン（株）（2017.5.10～2018.3.30） 非公開	安井一彦（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（A）（2016.4.1～2020.3.31） 我が国の自転車通行システムの整序化へのコンセンサス形成戦略	山中英生（代表）、稲垣具志 ほか
（一社）交通工学研究会（2017.12.28～2018.3.31） ドライブレコーダを活用した高齢運転者の運転行動と個人特性の関連性に関する研究	稲垣具志（代表）、小早川 悟
科学研究費補助金 若手研究（B）（2014.4.1～2018.3.31） 視覚障害者の横断支援性を有する生活道路交通安全施設の実現に向けた実証的研究	稲垣具志（代表）
科学研究費補助金 若手研究（B）（2015.4.1～2018.3.31） 複数衛星系を用いた高精度測位のための誤差電波検知による衛星選択手法の構築	池田隆博（代表）
学校法人中央大学 中央大学研究開発機構（2016.7.14～2018.3.31） 空港利用者の観光行動特性に対応した新たな情報システム構築に関する研究	江守 央（代表）、稲垣具志
科学研究費補助金 基盤研究（C）（2017.4.1～2021.3.31） ひび割れとプレストレスの複合的影響を考慮したPRC部材の塩分浸透特性評価法の構築	齊藤準平（代表）
科学研究費補助金 若手研究（B） 獲得支援研究助成金（2017.4.1～2018.3.31） ラウンドアバウトの幾何構造設計評価のための走行速度推定モデルの検討	吉岡慶祐（代表）

受賞

2017. 4. 1～2018. 3. 31

賞（受賞年月）	教員名
（公社）地盤工学会／第52回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞／ 粘性土を用いた短繊維混合補強土の強度変形特性に及ぼす目合いおよび剛性の影響（2017.8）	山中光一
（一社）交通工学研究会／研究奨励賞／ 子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実験的研究（2017.8）	稲垣具志、小早川 悟
（一社）交通工学研究会／安全の泉賞／ 子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実験的研究（2017.8）	稲垣具志、小早川 悟

平成29年度 学生の受賞等 2017. 4. 1～2018. 3. 31

主催者／賞などの内容（受賞年月）

受賞者氏名（研究室）

Transportation Science Society of the Philippines（フィリピン交通学会）／Best Presentation of The 24th Annual TSSP Conference
Study on Walkability around Stations of Urban Railway in Bangkok（2017.7）……………小澤弘典（交通システム研究室）

The 10th ATRANS Annual Conference: Yang Researcher's Forum, Asian Transportation Research Society（アジア交通研究学会）／
The Best Paper and Presentation Award／

Analysis of Car Sharing Usage in the Community Sctruck by the Disaster（2017.8）……………奥津健太（交通システム研究室）

（公社）地盤工学会／第52回地盤工学研究発表会／優秀論文発表者賞
関東ロームの安定処理における攪拌が物理特性およびCBRに及ぼす影響（2017.8）……………岡田貴行（地盤工学研究室）

（一社）交通工学研究会／研究奨励賞／
子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実験的研究（2017.8）……………府川阿佐美（交通計画研究室）

（一社）交通工学研究会／安全の泉賞／
子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実験的研究（2017.8）……………府川阿佐美（交通計画研究室）

（公社）日本道路協会／第32回日本道路会議／奨励賞
ジオセルを用いた補強路盤の支持力特性および応力分散効果（2017.11）……………伊藤友哉（地盤工学研究室）

（公社）土木学会／平成29年度全国大会第72回年次学術講演会／優秀講演者賞
段階式繰返し載荷試験によるジオセル補強地盤の支持力特性および応力分散効果（2017.11）……………伊藤友哉（地盤工学研究室）

平成29年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞
札の辻交差点における大型車の乗用車換算係数に関する研究—1986年 道路の交通容量との比較—（2017.12）……………中林 悠（道路マネジメント研究室）

平成29年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞
ドライバーの運転特性が渋滞発生後の捌け交通量に及ぼす影響分析（2017.12）……………永島潤也（道路マネジメント研究室）

（公社）土木学会／第45回関東支部技術研究発表会／優秀発表賞
ラウンドアバウトの外径と交差角度の組み合わせを考慮した車両挙動分析（2018.3）……………小久保智朗（道路マネジメント研究室）

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ 卒業研究発表会

轟 朝幸・石坂哲宏・齊藤準平

平成29年度の卒業研究発表会が平成30年2月17日（土）に船橋校舎14号館にて開催されました。

本年度は、113件（発表者119名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生、1年生、保護者など、約150名の参加がありました。

発表は1テーマあたり発表8分、質疑応答4分の合計12分で、1年間の研究成果を披露しました。先生方や卒業生からの質問や意見に対して、一生懸命に対応していました。これまで学んだプレゼンテーション技術や繰り返し行った発表練習などの成果が発揮できていたようです。



卒業研究発表会場の様子

■ 平成29年度修士論文審査会

下川澄雄（大学院担任）

大学院博士前期課程の修士論文審査会が平成30年2月21日（水）10時より船橋校舎1326教室にて開催されました。発表および質疑応答時間はそれぞれ10分と限られた時間でしたが、内容的にもしっかりしたレベルの高い審査会となりました。そして対象者全員が審査に合格し、3月25日（日）に修士（工学）の学位記が授与されました。修士論文の一覧は本号8ページをご覧ください。

今回の審査会までの間、中間審査会が1年次に1回、2年次に2回行われました。この中で、1年次は研究の動機づけや目的、着眼点、方法などといった研究の枠組みについて、2年次は得られた結果と解釈、それまでの過程における仮説や分析方法とその妥当性などについて、時間をかけて活発な議論が行われました。これらを通じて、大学院生として物事に対する理論立った考え方が身につく、確かな成長を見ることができました。さらに、学会等での外部発表も積極的に行われ、学外の有識者、他大学の学生との討議は、自身の研究はもとより自らを大きく成長させたのではないのでしょうか。

大学院生活はたった2年間ですが、その価値は社会人の

2年間をはるかに凌ぐものであり、その貴重な経験は血となり肉となりさまざまな場面で生かされるはずで。社会交通工学専攻最後の修了生として、大いなる活躍を期待しています。

■ 事務室からのお知らせ

伊藤順子・熊田悦子・岩本律子（事務室）

新しいスタートが始まる季節になりました。新入生は新生活への期待と緊張と複雑な心境でしょうか。また、在学は新学年に向けて意欲を燃やしているのでしょうか。

さて、事務室では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっております。また、公務員志望の方のために、参考書や問題集の貸し出しもしています。ぜひ活用してください。気軽に学科事務室に足を運んでください。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日～金曜日	9:30～13:00、14:00～16:00
場所	7号館2階7214室	

*入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。

TOPICS 新任教員の紹介



菊池浩紀 助手

この度、日本大学理工学部交通システム工学科の助手に就任させていただきましたことになりました。菊池浩紀です。

私は、日本大学理工学部社会交通工学科（現：交通システム工学科）を卒業後、同大学大学院理工学研究科博士前期課程を修了しました。その後、同大学大学院理工学研究科博士後期課程に進学、平成30年3月に単位取得満期退学し、本年度の4月より本学科にてお世話になることとなりました。

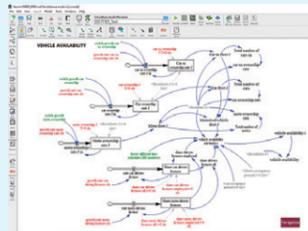
在学中は、低炭素都市の実現に向けた政策導入効果の推計に関する研究に取り組んでいました。皆さんもご存じのように、近年地球温暖化に関する問題の深刻度が増しています。この地球温暖化の主な原因となっている二酸化炭素の排出量は、運輸部門と民生（家庭）部門を合わせると世界全体の排出量の約34%（2007年）を占めています。突然ですが、開発途上の国を訪れたことがあるでしょうか？ 訪れたことのある方は、都市内の自動車の交通量や人の多さに驚いたかと思います。とくに開発途上の大都市では、近年の経済成長と人口増加

に伴い、自動車の利用が爆発的に増えています。今後、多くの開発途上国では、人口および自動車台数の急増により、さらに地球温暖化が進行することが懸念されています。

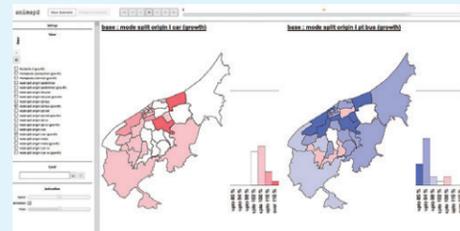
そこで、私の研究では、二酸化炭素の排出が少ない都市（＝低炭素都市）を実現するために交通と土地利用分野に着目した政策を導入することによって、どの程度都市内の二酸化炭素排出量を削減できるか等の推計・評価を行っていました。その推計には、在学中にもお世話になったウィーン工科大学のGünter教授らが開発したMARS（都市再配置）モデルを利用しました。このモデルは、システムダイナミクス理論を用いて開発されており、交通と土地利用に

関する政策を動的かつ中長期に推計できることが特長です。さらに、中長期で政策の評価を行うことで、政策決定者が導入する政策を選択する上で重要な手段のひとつとなります。

また、最近では、その地球温暖化によってもたらされている異常気象（洪水発生等）の問題に対して、都市がその問題に順応するための適応策に着目し、その対策を導入した場合の効果の中長期に推計しています。社会人1年目であり、まだまだ未熟者ですが、先生方や学生の皆さんのお役に立てるように努力したいと思います。また、自身も本学科の卒業生でもあるので、自分の経験も生かしながら頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



MARSモデルの交通サブモデルの一例



可視化ソフトウェアを用いた政策の比較（交通手段別割合の変化）

平成29年度 就職状況

4年生担任 轟 朝幸、石坂哲宏、齊藤準平

平成29年度の学部の卒業予定者は120名（平成29年9月卒業1名を含む）、大学院の博士前期課程修了予定者は10名、合計130名に対し、就職を希望しない学生を除くと、100%の学生が進路を決定しました。本年度の就職活動は、昨年に引き続き、就職活動が3月1日より開始となりましたが、7月には学部、大学院ともに内定率が約60%となりました。昨年度の7月は約60%の内定率でしたので、昨年と同様に非常に早い時期から集中して内定が出た結果とな

りました。

就職先の業種別では、建設業（建設コンサルタントを含む）が学部生では40%、大学院生では70%と大きな割合を占めており、例年よりも多くの学生が建設業を就職先とする傾向がみられました。学部生では次いで国家・地方公務員（東京都庁、各県庁、東京都23区などを含む）が約20%、運輸業（主に鉄道会社）が18%となっており、これら業種については例年と同じ傾向となりました。

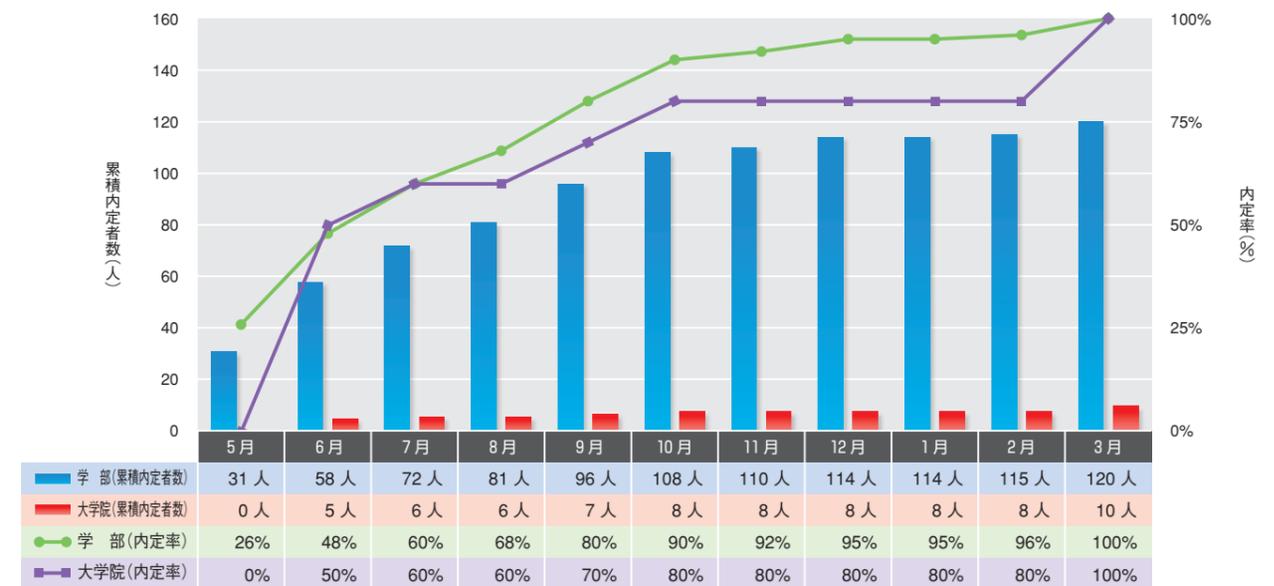


図-1 学部・大学院の内定者の推移

就職先業種別内定人数

内定先業種	大学院(人)	学部(人)
建設業	7	48
運輸業	0	22
国家公務員	0	1
地方公務員	0	24
大学院・進学・研究生	1	17
情報サービス	1	0
通信業	0	0
複合サービス業	0	1
一般機械器具製造業	0	0
学校教育	0	0
就職を希望しない	1	5
その他	0	2
合計	10	120

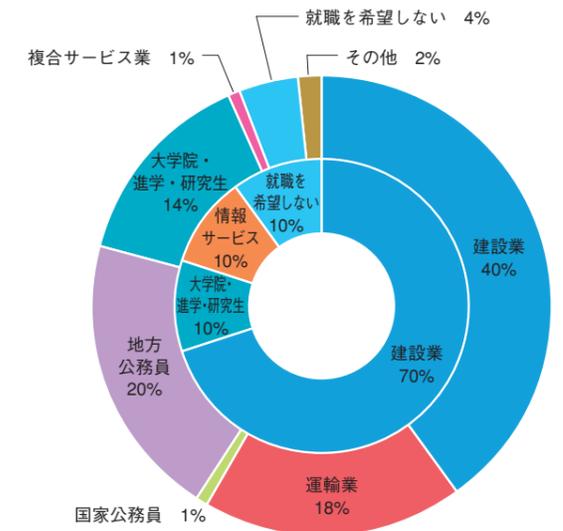


図-2 就職先業種別割合（内：大学院、外：学部）



海外派遣のご報告

伊東英幸
准教授

私は理工学部の海外派遣研究員として、平成29年4月17日から10月31日まで米国のカリフォルニア大学デービス校 (UC Davis)、平成29年11月1日から平成30年3月25日まで豪州のメルボルン大学に客員研究員として約1年間、研究活動を実施しました。

カリフォルニア大学デービス校は、カリフォルニア州の州都であるサクラメントから西へ約20kmの小さな田舎町、デービス市に位置しており、バイクレーンの整備で有名な街のひとつです。デービス校は自然豊かなキャンパスで、Road Ecology CenterのCo-directorの一人であるProf. Alison Berryの研究室を拠点として、研究活動を実施しました。

このRoad Ecology Centerは、道路生態

学分野における米国の先駆的な研究センターであり、Co-directorのProf. Fraser ShillingやDr. Dave Waetjenのご協力の下、カリフォルニア州全域を対象としてドライバーがロードキル(道路上における動物の死亡事故)の発生地点を発見した場合に、アプリでロードキル情報をアップロードし、データベースとして運用しているCalifornia Roadkill Observation Systemの開発や、事故の多いホットスポットの分析、野生動物の道路の横断のために建設されたボックスカルバートに設置されたカメラで自動撮影された写真をリアルタイムでオンライン上にアップロードし、横断利用状況をモニタリングするWildlife Observer Networkの開発と運用などに関して研究を実施しました。

このほかには、Prof. James Thorneのご協力の下、カリフォルニア州全域の道路周辺における生物多様性の保全に向けた地域保全計画に関する研究のディスカッションや、カリフォルニア州交通局へのインタビュー調査、カリフォルニア州やユタ州における動物用横断施設の現地視察などを実施し、生物多様性に配慮した道路計画について実態調査を行いました。

一方、メルボルン大学は、歴史的建造物と近代的な都市が融合したビクトリア州のメルボルン市の



メルボルンの様子



メルボルンのシェアサイクルステーション

北に位置しており、市内はトラムが行き交い、バイクレーンも整備されています。メルボルン大学では、交通モデリングが専門のProf. Russell Thompsonの下、ビクトリア州で発生した交通事故の発生要因に関する分析を共同で実施しました。ビクトリア州では交通事故データが公開されており、人と動物を含む交通事故発生に起因するさまざまな要因に関する分析などを行いました。

このほかにはHandbook of Road Ecologyの著者であるDr. Rodney van der Reeと豪州の道路周辺環境の保全に関する現状と課題に関するディスカッションや、道路環境保全施設の現地視察などを実施しました。

今回の海外派遣では、大変有意義な研究活動および海外での生活を経験することができました。今後も海外の大学との繋がりを大切にしつつ、これらの経験を研究や講義にフィードバックしていきたいと思っています。



カリフォルニア大学デービス校のProf. Fraser & Dr. Dave



メルボルン大学のProf. Russell Thompson



デービスの蛙用パイプカルバート



デービス校内のラウンドアバウト

編集後記

冬季オリンピックが閉幕となり、過去最大のメダル数、若い力の躍動に、心が躍るひと時を過ごした。時折流れるアーカイブは、リレハンメル大会やソチ大会。私自身に刻まれたアーカイブは札幌大会。道民の心を熱く燃やした日の丸飛行隊の三本の日の丸、そして、大会歌であった「虹と雪のパラード」を合唱した中学の卒業式。私たちに時代の違いはあるものの、若い人たちのひた向きの努力と挑戦、そしてその姿は、アーカイブとしてしっかり刻まれる。今回の大会では、パシュートが胸を打った。個々のスキルに勝る蘭国に挑んだチームの力。新入生が交通技術者として育ち、どんなチーム力を発揮して社会に貢献してくれるのだろうか？アスリートの挑戦は北京大会に向かってもう動き出している。いずれも4年後が、今からとても楽しみである。(藤井)

今年は韓国平昌で冬季オリンピックが行われ、日本は1998年の長野大会を上回る13個のメダルを獲得するなど、なにかと話題の尽きないイベントになったかと思います。一方で、会場の設備や交通のインフラ面について問題となった部分もあり、とくに人の輸送については、公共交通の営業が終了してしまった、言葉が通じないので目的地に行けない、といった課題が挙げられていました。2年後に東京でオリンピックが行われますが、似たような状況とならないように柔軟な対応が求められると感じました。なお、最近東京メトロでは、自動券売機の対応言語を7カ国語まで増やしているそうです。そのほかにも多言語に対応した案内板等が登場しつつあるので、普段利用している機器についても意外と多言語に対応しつつあるかもしれません。(池田)